

# 和光の未来を



知る

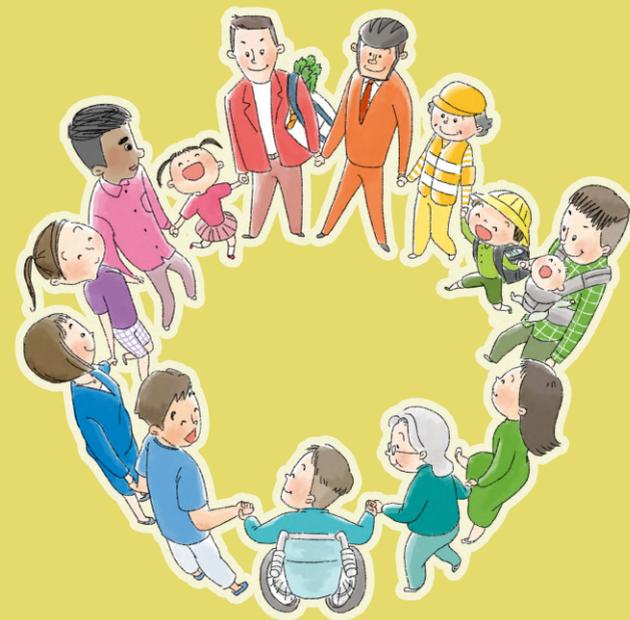
ブック

第五次 和光市総合振興計画 基本構想 2021～2030  
【概要版】

**WAKU  
WAKU  
WAKO  
2030**

# 目次

はじめに	2
将来都市像	4
市民生活の目標像	8
SDGs への取組 ～ 誰一人取り残さないために ～	10
描く未来の実現に向けた基本戦略	12
目標像 1 良好な生活環境が得られる	16
目標像 2 安全かつ快適に移動できる	20
目標像 3 身の回りの生活上の不安が軽減される	24
目標像 4 子どもが自己肯定感を持ち健やかに育つ	28
目標像 5 安心して妊娠・出産・子育てができる	32
目標像 6 高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる	36
目標像 7 誰もが自立した生活と社会参加ができる	40
目標像 8 健康に日々を暮らしている	44
目標像 9 いきいきと仕事をし続けられる	48
目標像 10 趣味などを通して充実した時間を過ごせる	52
目標像 11 まちや人とつながり心豊かに過ごす	56
目標像 12 シビックプライドを持っている	60
施策の一覧	64
第五次和光市総合振興計画について	66



# はじめに

和光市は、「みんなでつくる 快適環境都市 わこう」を将来都市像に掲げた第四次和光市総合振興計画を通じて、市民の皆様とともにまちづくりを進めてまいりました。この10年間を通じて、下新倉小学校の新設、各地域の土地区画整理事業の進展、市民協働による様々な取組が立ち上がるなど、和光市のまちづくりが大きく前に進みました。

この度、こうした成果を引き継ぐとともに、更なる和光市の発展を目指して、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までを計画期間とする第五次和光市総合振興計画を策定いたしました。

総合振興計画は、長期的な展望に立って和光市の目指すべき将来像を描くとともに、その実現に向けた総合的かつ計画的なまちづくりの在り方を示したものであり、かつ、この第五次和光市総合振興計画は、地方創生の視点も取り入れ、まち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置付けられるものです。

第五次和光市総合振興計画の策定に当たっては、和光100年まちづくり会議をはじめとする市民参加の取組を通じて、市民と行政とで想いを共有し、新たな将来都市像「みんなをつなぐワクワクふるさと 和光」を打ち出しました。まちづくりの主体は市民をはじめとした「みんな」であること、若い世代の転出入が多い和光市だからこそ意識的につながりを作っていくべきであること、暮らす人にとっても訪れる人にとってもワクワク感のあるまちであること、そして、「都市」と「田舎」の良さを兼ね備えた和光市の良さを維持していくことなど、今後10年間のまちづくりに当たっての大切な価値観を示しています。

こうした将来都市像を、和光市で生活する一人一人の市民をイメージした「市民生活の目標像」に落とし込むとともに、それを実現するための「描く未来の実現に向けた基本戦略」を示し、その実現に向けて推進してまいります。

さらに、全世界的にあらゆる主体が達成に向けて取り組む、国連サミットで採択された2030年までの国際目標であるSDGs(エスディーゼーズ)についても本計画に組み込み、その達成に向けても取り組んでまいります。

現在、新型コロナウイルス感染症による影響など、グローバル規模での様々な不確実性に晒されている中ではありますが、新たに生じる課題に的確に対応していきながら、新たな将来都市像を実現してまいります。

最後に、本計画の策定に当たり、様々な形でご意見、ご提言をいただいた市民の皆様をはじめ、ご尽力いただいた関係各位に対し、心から感謝を申し上げます。

令和3年3月 和光市長 松本武洋



# 将来都市像

## みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光



ご近所さん同士をつなぐ  
子どもとお年寄りをつなぐ  
困っている人と誰かの助けになりたいと思っている人をつなぐ  
趣味や興味をきっかけに人をつなぐ  
農作物をつくる人と食べる人をつなぐ  
引っ越してきた人と住んでいる地域をつなぐ  
他のまちや国に暮らす人をつなぐ  
大事にしているものを次の世代へとつなぐ  
次の出会いが待ち遠しくなる

つながると

今よりも安心して毎日を過ごせる  
居心地が良い場所が見つかる  
日常の中にちょっとした楽しみが生まれる  
世界が広がったり、新たな発見があったりする  
新しい何かが起こる予感  
ワクワクが生まれる

都会の近くにある、豊かな自然やのどかさが残っているまち  
そばで見守ってくれる人や一緒に楽しめる仲間がいるまち  
ふるさと和光

いろんな人やモノゴトがつながる中で  
期待と愛着を感じられ、住んで良かったとみんなが思える  
そんな和光市を目指します

## 「みんなを」

第四次和光市総合振興計画における将来都市像「みんなで作る 快適環境都市 わこう」の考え方を継承し、まちづくりの主体は市民をはじめとした「みんな」であることを示しています。

その上で、市内だけにとどまらず、他都市や世界とのつながりなども視野に入れ、積極的につなげていく意思を表明するために、「みんなで」や「みんなが」ではなく、「みんなを」という表現にしています。

## 「つなぐ」

総合振興計画策定に向けて開催した和光100年まちづくり会議では、住み続けたいまちになっていくためには、人とのつながりが豊かであることが重要であるという意見が多く出されました。若い世代の転出入が特徴の1つである本市においては、人とのつながりが自然発生的に生まれるのを待つだけでなく、意識的につながりを作っていくことが求められます。

また、人のつながりだけでなく、道路や交通などを含めたインフラ面でのネットワークを強化していくことや、大切な自然環境や歴史資源などを次世代に引き継いでいくことも「つなぐ」という言葉に込めています。

## 「ワクワク」

本市に暮らす人にとっても訪れる人にとっても「楽しい」と感じられたり、「楽しいことがある」と思えたりできるようなワクワク感のあるまちを目指します。ワクワクには、「湧く」や「沸く」という漢字を当てはめることができ、活力や賑わいがあり、新しいことが次々と沸き立つような状態をイメージしています。

また、「湧く」という言葉は、本市の大切な地域資源である「湧き水」を想起させ、本市の特徴である自然資源を守っていく意思を示しています。

## 「ふるさと」

本市は、東京都心部に直結する立地でありながら、緑が豊かで潤いのあるまちであり、そうした都市と田舎の良さを兼ね備えた状態を維持していくことを「ふるさと」という言葉に込めています。

また、未来を担う子どもたちをはじめとする市民の方々が、本市に愛着やシビックプライドを持って、自らまちと触れ合っていくことを通じ、本市を「ふるさと」と感じ、いつまでも住み続けたいと思えるようにしていきます。

# 市民生活の目標像

将来都市像「みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光」を「日々の生活の基盤が整っている」「それぞれのライフステージを充実させる」「心豊かに、満足度の高い生活が送れる」の3つの視点から具体化し、本市で生活する一人一人の市民生活をイメージした「市民生活の目標像」を設定しました。

日々をワクワクして過ごし、人とつながりながら心豊かに過ごすとともに、本市を「ふるさと」として意識することでシビックプライドを持ちながら、「みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光」をみんなで作っていきます。

## 視点① 日々の生活の基盤が整っている

目標像 1  
良好な生活環境  
が得られる



目標像 2  
安全かつ快適に  
移動できる



目標像 3  
身の回りの  
生活上の不安が  
軽減される



## 視点② それぞれのライフステージを充実させる

子どもが  
自己肯定感を持ち  
健やかに育つ

目標像 4



安心して  
妊娠・出産・  
子育てができる

目標像 5



高齢になっても  
住み慣れた地域で  
暮らし続けられる

目標像 6



誰もが  
自立した生活と  
社会参加ができる

目標像 7



## 視点③ 心豊かに、満足度の高い生活が送れる

健康に日々を  
暮らしている

目標像 8



いきいきと仕事を  
し続けられる

目標像 9



趣味などを通して  
充実した時間を  
過ごせる

目標像 10



まちや人と  
つながり  
心豊かに過ごす

目標像 11



シビックプライド  
を持っている

目標像 12



# SDGs への取組

## ～ 誰一人取り残さないために ～

貧困に終止符を打ち、地球を保護し、全ての人々が平和と豊かさを享受できることを目指した国際目標として「SDGs」があります。SDGsは、格差や貧困、気候変動をはじめ、人々の生産や消費のあり方にまで言及した17のゴール（目標）と169のターゲットで構成され、地球上の誰一人として取り残さない社会の実現をうたっています。

一人一人が周りの人や地域とつながり、魅力や賑わいのあふれる和光市を次世代につないでいきたいという私たちの思いは、SDGsの誰一人取り残さず、豊かで活力ある未来をつくるという考え方に重なっています。すなわち、この基本構想の実現に向けて取り組んでいくことは、SDGsの達成に向け方取組にもなります。

市民と行政がともに考え、描いた「将来都市像」と「市民生活の目標像」を実現していくために、また、和光市だけでなく、持続可能で活力ある日本の未来にも貢献できるよう、地方公共団体として、あらゆる施策の推進に当たりSDGsを意識し、全世界的な課題も含めた様々な課題解決に取り組んでいきます。

### 市民生活の目標像

### SDGsのゴール

目標像 1 良好な生活環境が 得られる	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさ を守ろう
目標像 2 安全かつ快適に 移動できる	3 すべての人に 健康と福祉を	11 住み続けられる まちづくりを				
目標像 3 身の回りの生活上の不安が 軽減される	5 ジェンダー平等を 実現しよう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	13 気候変動に 具体的な対策を	16 平和と公正を すべての人に	
目標像 4 子どもが自己肯定感を持ち 健やかに育つ	4 質の高い教育を みんなに					
目標像 5 安心して妊娠・出産・ 子育てができる	3 すべての人に 健康と福祉を					
目標像 6 高齢になっても住み慣れた 地域で暮らし続けられる	3 すべての人に 健康と福祉を					
目標像 7 誰もが自立した生活と 社会参加ができる	1 貧困を なくそう	3 すべての人に 健康と福祉を				
目標像 8 健康に 日々を暮らしている	2 飢餓を ゼロに	3 すべての人に 健康と福祉を				
目標像 9 いきいきと 仕事を続けられる	2 飢餓を ゼロに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任		
目標像 10 趣味などを通して 充実した時間を過ごせる	4 質の高い教育を みんなに					
目標像 11 まちや人とつながり 心豊かに過ごす	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナシップで 目標を達成しよう				
目標像 12 シビックプライドを 持っている	11 住み続けられる まちづくりを	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナシップで 目標を達成しよう			



## 基本戦略⑤ 子どもたちや子育て世代の支援

未就学児について保育センターの設置により保育の質を向上させることや、就学児について学童クラブとわころうっこクラブの一体型運営による放課後の児童の居場所づくりを推進していくことなど、子どもたちや子育て世代への支援を充実させます。

また、これまで推進してきたわころう版ネウボラとともに、子ども家庭総合支援拠点の取組等により、児童虐待などに至らない健やかな子育て環境にしていきます。

## 基本戦略⑥ 高齢化への対応

介護予防事業やコミュニティケア会議など地域包括ケアの取組を推進していくほか、医療機関や研究機関をはじめとした市内関係機関等との連携を強化していくことで、生涯に渡った生活の質の向上を図っていきます。

## 基本戦略⑦ 和光北インターチェンジ周辺の活性化

現在国土交通省が進めている東京外かく環状道路の関越自動車道から東名高速道路間の整備に伴い、和光北インター東部地区における土地区画整理事業により新たな産業拠点を生み出していくほか、新倉パーキングエリアのサービスエリア化構想を都市農業の振興や地域産業の振興に結び付けていきます。

また、新たに国指定の史跡となった午王山遺跡についても、これらの取組とも連携させて遺跡を保存・活用することにより、シビックプライドの醸成に生かしていきます。

## 基本戦略⑧ 地域コミュニティの再醸成

自治会単位での地域コミュニティの醸成と並行し、市内全小中学校で指定済みのコミュニティ・スクールによる学校づくりを推進することや、小学校区を基本単位とする地区社会福祉協議会を全市展開することなどを通じ、地域コミュニティの再醸成を進めていきます。



## 目標像

1

# 良好な生活環境が 得られる



良好な生活環境ってどんな暮らしなのかな？

和光市駅や市役所などを中心に暮らしを便利にすることが考えられるね。  
例えば、こんな姿を目指しているんだ！



### 【どのような姿を目指したいのか】

- ・ 便利で快適な、住みやすい居住環境が整っている
- ・ 災害に強いインフラ・ライフラインが整っている
- ・ 和光市駅の周りが楽しく、みんなが集まる場所になっている
- ・ 環境問題に取り組む



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 和光市駅北口の駅前を再開発する
  - 新しい公園を作っていく
  - 安全安心なおいしい水を供給していく
  - 大雨による浸水被害を少なくするための雨水排水施設を整備する
  - 新しい情報通信技術を使って行政窓口サービスをよりよくする
  - 朝霞市と一緒に新たなごみ焼却施設を作る
  - 地球温暖化対策とごみ減量に取り組む
- といった施策を行なっていくんだ！



にぎわいづくりから環境対策まで、たくさんの方が良好な生活環境に関わるんだね！

## 目標像 I を達成するために 私たちができること

落ち葉掃除や花壇の手入れなど、みんなで緑のお世話をします。

自然環境の保全や公園等の維持管理に関心を持ちます。

公園や公共空間の維持管理に関するルールづくりに参加します。

周辺環境に合わせて、建物などの景観に配慮します。

まち歩きなどを通して自然資源の発掘やPRをします。

ごみ拾いやポイ捨て禁止などの環境美化を心がけます。

大きな木や湧水などを大事にします。



～和光100年まちづくり会議からの提案～

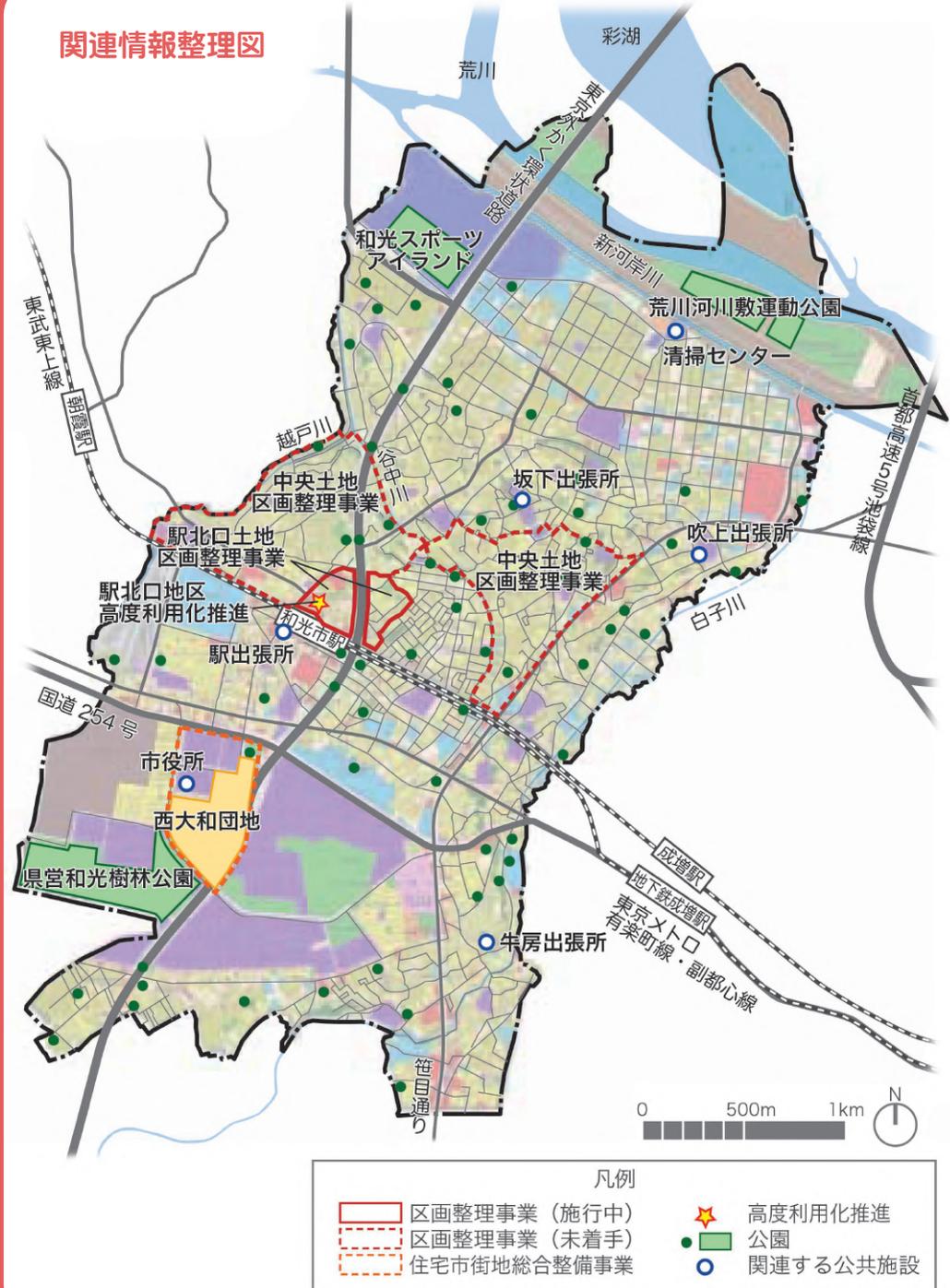


和光スポーツアイランド（公園）



越戸川の夏休みジャブジャブ大会

## 関連情報整理図





# 安全かつ快適に 移動できる



安全かつ快適な移動ってどんな移動？

道路を歩きやすくしたりすることだよ！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・歩行者や自転車が安全に移動できる
- ・トラックなどのヒヤリとするすれ違いを減らす
- ・みんなが使う公共交通をもっと便利にする
- ・交通手段に新しい技術を活用する



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 国道が延伸されるのにあわせて市内の道路を改善する
  - 交通事業者などと協力して交通の問題を考える会議をしていく
  - 新しい移動技術を積極的に取り入れていく
  - 交通安全意識を高めていく
- といった施策を行なっていくんだ！



移動のしやすさは便利になるし、交通事故が減ることにもつながるね！

## 目標像2 を達成するために 私たちができること

車を運転する際は、歩行者主体であることを意識します。

信号無視をしない、ながら運転をしない、横一列になって歩かないなど、歩行者マナー・自転車マナーを守ります。

身近な人のちょっとした移動を手助けします。

より便利な交通手段の在り方に関心を持ちます。

送迎サービスなど、民間事業者の取組も活用します。

シェアリングエコノミー（例：シェアサイクル）などの発想に基づくサービスを有効活用していきます。

自転車など環境に優しい乗り物を活用します。

乗り物を活用した移動ボランティアに取り組みます。



～和光100年まちづくり会議からの提案～



シェアサイクル

歩くと少し遠い場所にはシェアサイクルで。借りた場所に戻す必要がありません。市内各所に設置。

## 関連情報整理図



凡例			
	都市計画道路（現況）		シェアサイクルポート
	都市計画道路（計画）		主要路線バスルート
	循環バスルート		外環蓋掛け上部
	関連する公共施設		



# 身の回りの 生活上の不安が 軽減される



どんな不安が軽減されると良いかな？

例えば、防災や防犯の対策が整っていると安心だよね！他には、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・災害がおきたときの備えや犯罪防止に取り組んでいる
- ・身近な問題を気軽に相談できる人や場所がある
- ・差別などが無く、一人一人を尊重し合える



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 防災についてみんなで考える場を設ける
- みんなで防犯活動をする
- 詐欺に騙されないように被害情報の周知をする
- 人権についてみんなで学んでいく
- 女性活躍を支援していく

といった施策を行なっていくんだ！



不安の軽減に含まれる取組内容は幅広いのね！

### 目標像3 を達成するために 私たちができること

困った時には積極的に声を上げます。

日常生活における身近なつながりを大切にします。

ヘルプマークを使って意思を伝えます。また、マークの存在を気かけます。

多様な価値観や考えを尊重した人との関わりを心がけます。

困っている人に積極的な声かけを行います。

振り込め詐欺や災害情報に関心を持ち、周囲の人と共有します。

困っている人に手を差し伸べる、おせっかい隊員になります。

地域で食事会など、楽しい企画をします。

地域の防犯のため、わんわんパトロールに参加します。



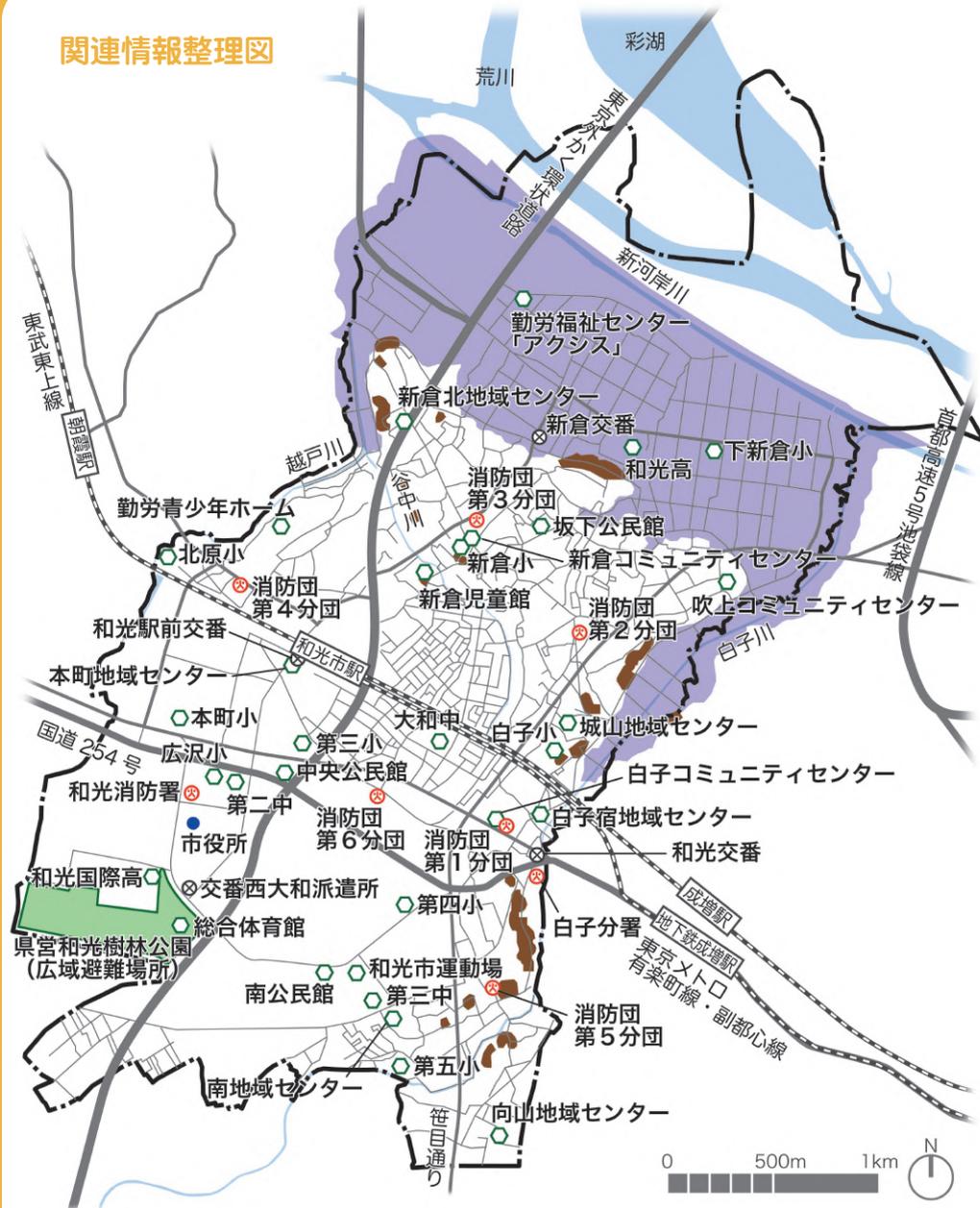
～和光100年まちづくり会議からの提案～



BOSAI フェア

防災プログラムを体験し、防災技術と体力を競い合う防災訓練イベント。

### 関連情報整理図



凡例			
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:purple; border:1px solid black;"></span>	浸水想定区域	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px solid green; border-radius:50%;"></span>	避難場所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:brown; border:1px solid black;"></span>	土砂災害警戒区域	<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px solid red; border-radius:50%;"></span>	消防署・消防団
		<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px solid black; border-radius:50%;"></span>	交番
		<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:blue; border:1px solid black; border-radius:50%;"></span>	関連する公共施設



# 子どもが 自己肯定感を持ち 健やかに育つ



「私はできる」と自信を持つには子どもにどんな環境が必要かな？

みんなで子どもを尊重し、応援することが大切だね！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・子ども一人一人が、「自らをかけがえない存在」と思っている
- ・子ども一人一人が、学習の大切さに気づき、進んで学ぼうとしている
- ・子どもが、心身ともに健康に、自分らしく育つ権利である「子どもの権利」が保障されている
- ・子どもが放課後など、安心して居られる寂しくない居場所がある
- ・地域が、子どもたちの支えになっている



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 新しい情報通信技術を活用した教育を充実させていく
  - いじめを防止していく
  - 学校の先生たちが働きやすい環境を作っていく
  - 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への指導等を充実させる
  - コミュニティ・スクールによる学校づくりを推進する
  - 古くなった学校の設備を直していく
  - 放課後の居場所を充実させていく
- といった施策を行なっていくんだ！



学校と家庭と地域が協力しながら施策を実現していくのね！

## 目標像4 を達成するために 私たちができること

子どもに地域の歴史や自然に興味を持ってもらえるようにします。

登下校の見守りや地域の子どもへの声掛けを積極的に行います。

職場体験や社会科見学など、子どもへの学ぶ機会を提供します。

子どもの意見を受け止め、自主性を育みます。

子どもの教育に関わるための知識を持ちます。

子どもの日常生活において、親、先生以外の大人と関わる機会を与えます。

学校以外の子どもの居場所づくり（自習室、部活動、こども食堂など）に協力します。

子どもの主体的な学びや意志を尊重します。



～和光100年まちづくり会議からの提案～

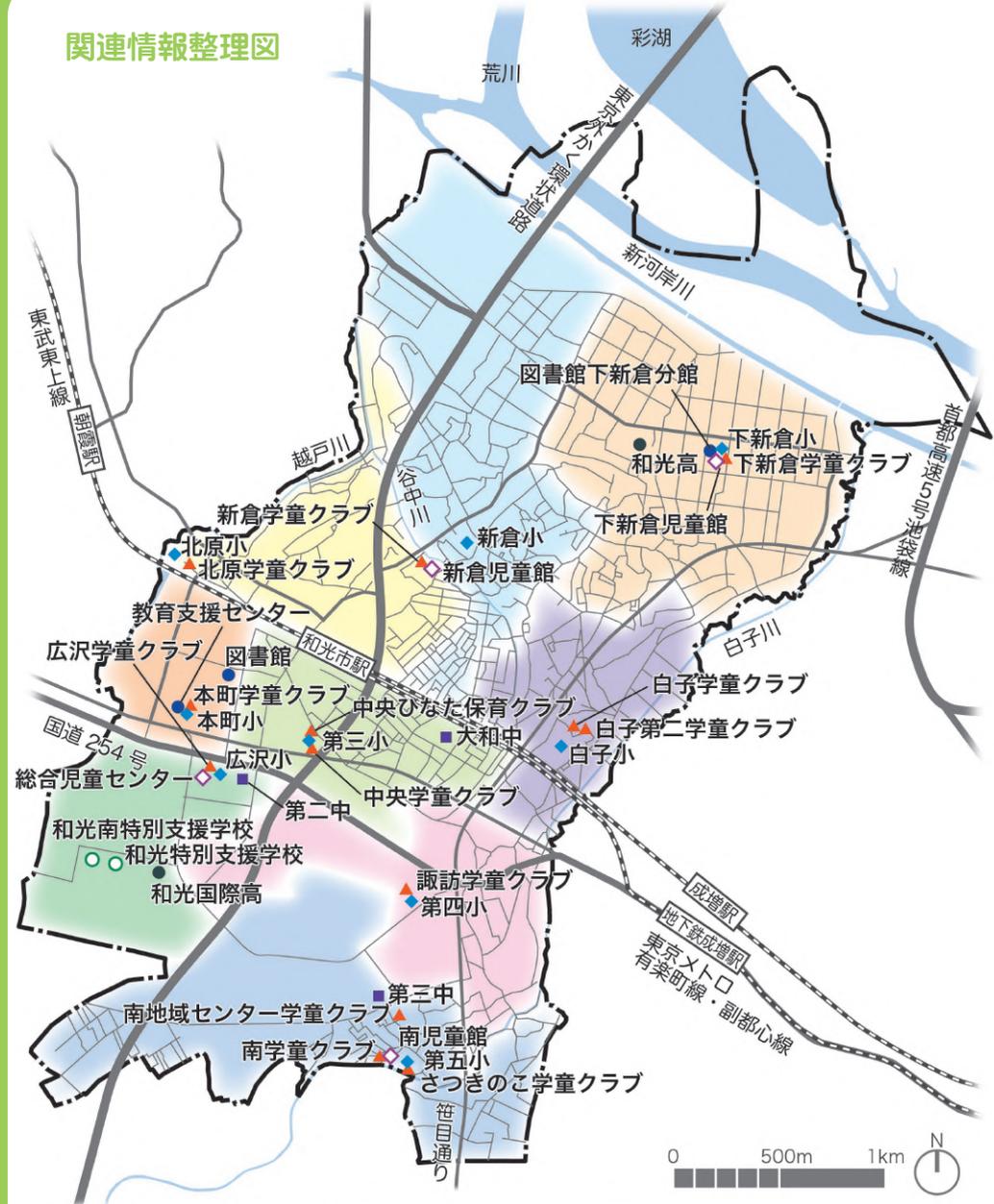


わこうっこクラブ



わこうっちかるた大会

## 関連情報整理図



凡例

- ◆ 小学校
- 高等学校
- ◇ 児童センター・児童館
- 中学校
- 特別支援学校等
- ▲ 学童クラブ
- 関連する公共施設

※地図上の色分けは、地域コミュニティの単位である小学校区を示しています。



# 安心して 妊娠・出産・ 子育てができる



安心して妊娠・出産・子育てができるようにするには何が大切かしら？

子どもが欲しい人、子育てをしている人の不安を減らす環境づくりが大切だね！  
例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・子どもが欲しい人、子育てをしている人が、不安なく希望を持って子育てに向かうことができる
- ・子どもを安心して預けられる環境が整っている



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- ケアマネジャーを配置して妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援していく
- 児童虐待の予防、早期発見と重度化防止の体制を強化していく
- 保育の質を向上させるための保育センターを設置する
- 待機児童の解消など保育ニーズに対応する

といった施策を行なっていくんだ！



保護者の不安を減らすことが、安心して楽しく子育てをすることにつながるのね！

## 目標像5 を達成するために 私たちができること

子育て家庭同士でのつながりを増やし、子育てに関する情報交換をします。

地域住民で子育て家庭に積極的に声掛けをします。

おせっかい（地域住民による子育て支援）キャラバン隊員になります。

性別や年代を問わず、妊娠や出産について理解を深めます。

働きながら妊娠・出産・子育てができるよう、お互いに配慮します。



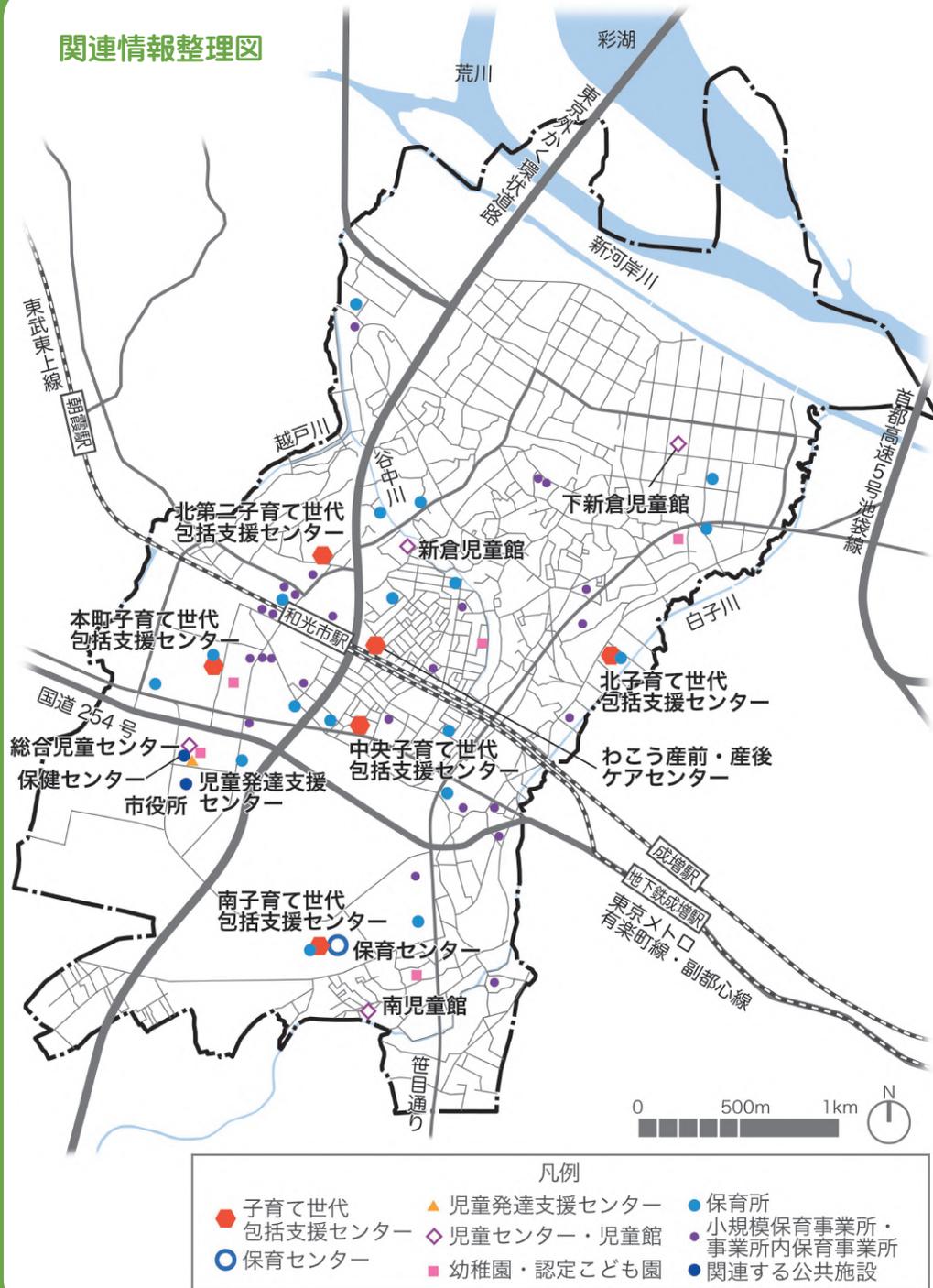
～和光 100 年まちづくり会議からの提案～



わこう産前・産後ケアセンター

妊娠・出産・産後・子育てに限らず、あらゆる世代の人が楽しく交流できる居場所。

## 関連情報整理図



# 高齢になっても 住み慣れた地域で 暮らし続けられる



おじいちゃん・おばあちゃんになっても住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするには、どんな地域が良いのかな？

おじいちゃん・おばあちゃんが活動しやすい環境づくりが大切だね！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・高齢者の生活が豊かで、生きがいを持って、住み慣れた地域で暮らしている
- ・高齢になっても、自分の力を地域に生かせる
- ・家族の介護の負担が減っている



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 高齢の方が生きがいを持てるようサポートしていく
- 介護予防の取組を通じて、高齢者の健康維持・増進を図る
- 一人一人の状況を把握して的確な高齢者支援をしていく
- 在宅介護をしやすくするため、医療機関との連携を強化していく

といった施策を行なっていくんだ！



おじいちゃん・おばあちゃんがいきいきと暮らしているまちって素敵よね！

## 目標像6 を達成するために 私たちができること

高齢者と積極的に関わりを持ち、世代を超えた交流をします。

高齢になっても好奇心を持ち、好きなことにチャレンジします。

民間企業や研究機関による医療介護技術の開発に関心を持ちます。

これまでの人生経験を生かし、地域に貢献します。

若いうちから加齢と老化に伴う問題を意識するようにします。

自らの退職後の暮らし方（趣味作りや地域活動への参加など）について考えます。

介護予防のために日常でできることに取り組みます。



～和光 100 年まちづくり会議からの提案～

介護予防・地域交流拠点

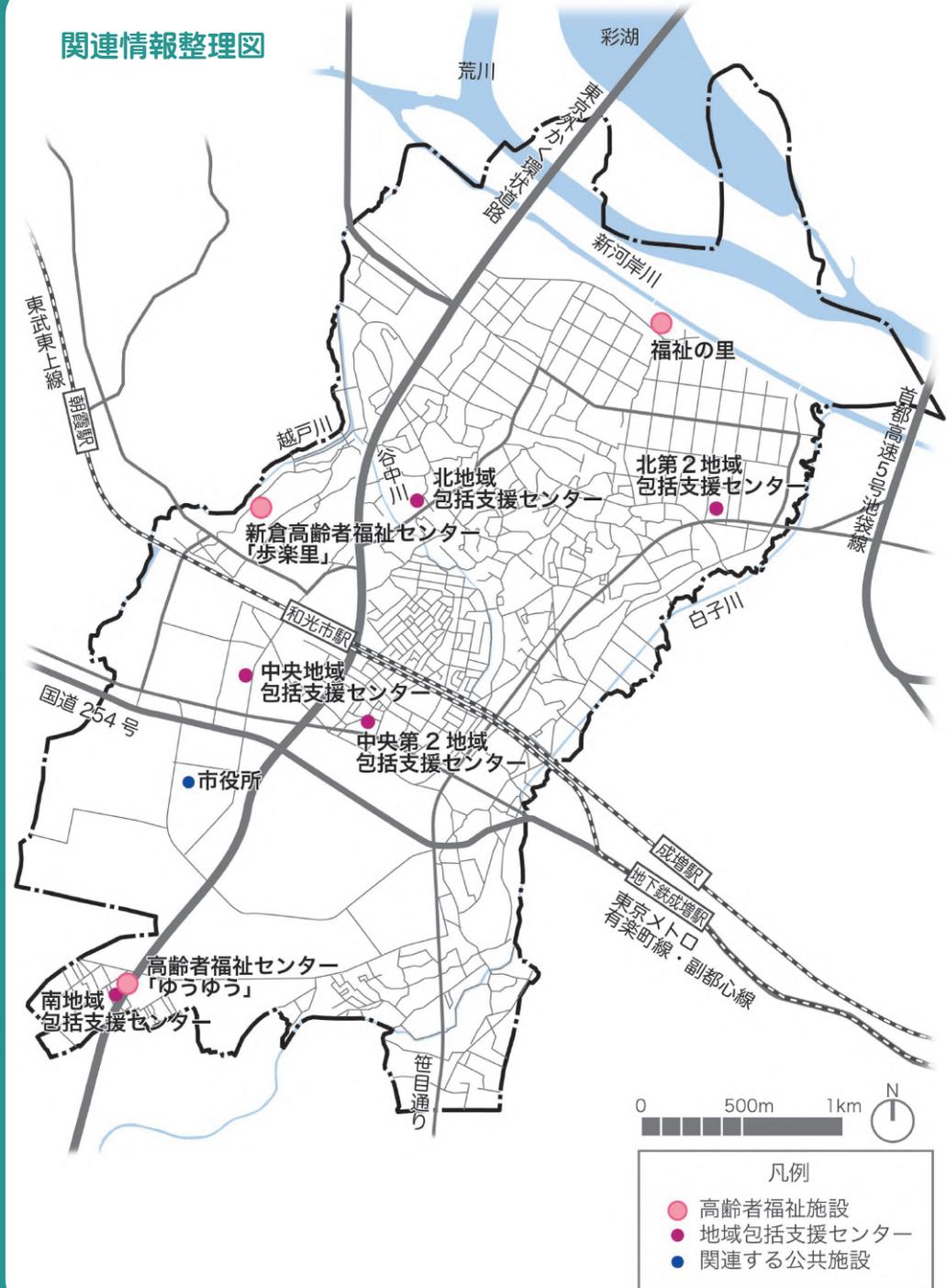


介護予防事業



まちかど健康相談室

## 関連情報整理図





# 誰もが 自立した生活と 社会参加ができる



誰もが自立した生活と社会参加ができるようにするにはどうしたらいいかな？

安定した生活を送るための理解とサポートが必要だね！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・ 障害者が社会参加や働くことができる
- ・ 障害者が生活をする中で困らない
- ・ 経済的に困っている人が将来への希望を持てる



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 障害に関する相談支援体制を充実させていく
- 障害者の就労をサポートしていく
- 生活が困窮している家庭における家計・就労・学習支援などを行う

といった施策を行なっていくんだ！



誰もが不自由なく暮らせるようサポートすることが大切ね！

## 目標像7 を達成するために 私たちができること

まずは一人一人がかけがえのない存在であることを意識します。

他人への思いやりの心を持つよう心がけます。

経済的困窮者への支援を身近なことから考えます。

農福連携や障害者雇用を推進します。

やりがいを感じられることに積極的にチャレンジします。

相手の気持ちに寄り添い、小さな一歩を応援するように心がけます。



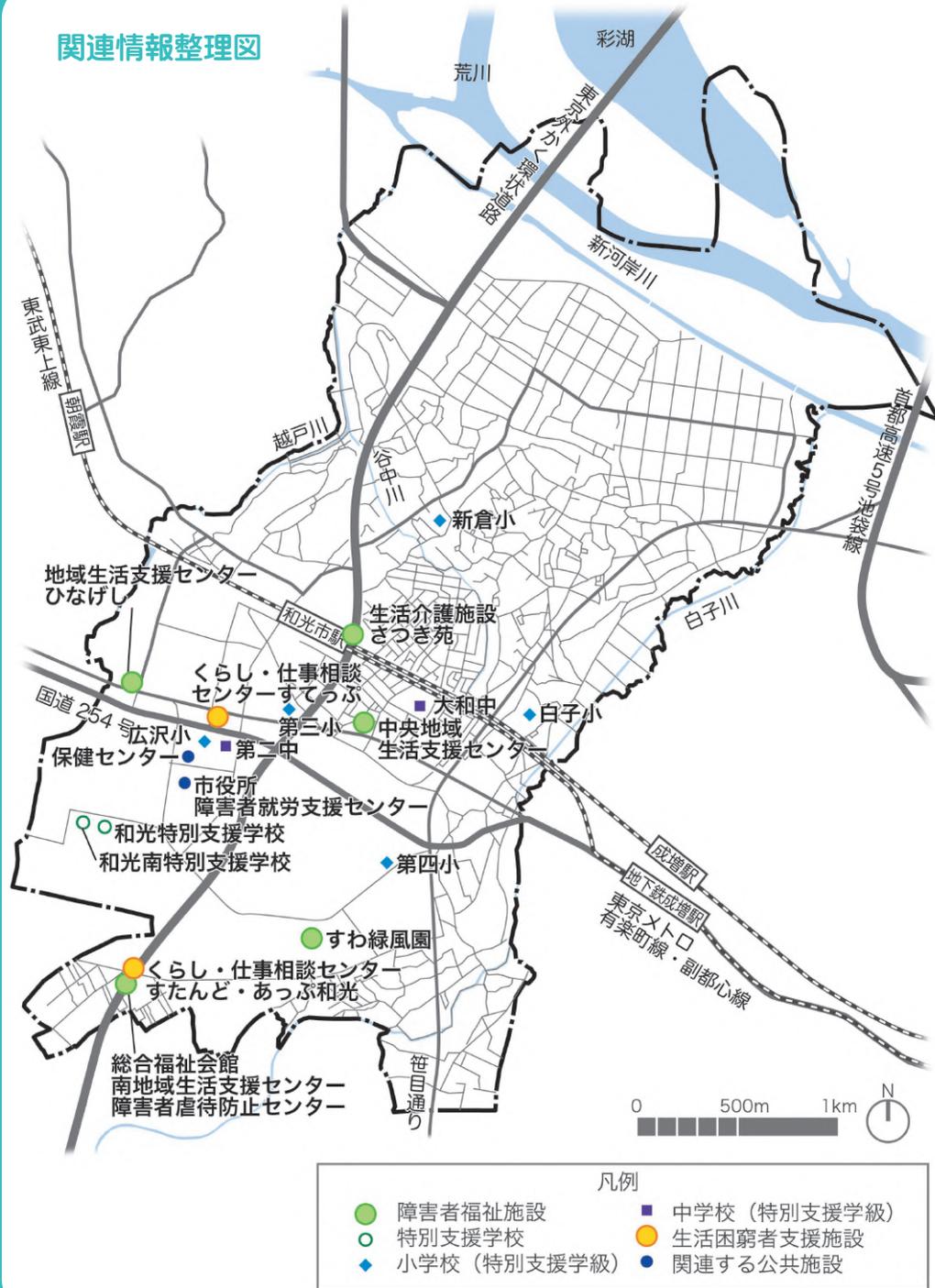
～和光 100 年まちづくり会議からの提案～



和光市総合福祉会館 ゆめあい和光

障害のある方やお年寄りから子どもたちまでふれあえる交流の場。

## 関連情報整理図





# 健康に日々を暮らしている



健康に日々を暮らしていくのに、気をつけたほうが良いことってあるのかな？

毎日体を動かしたり、リフレッシュしたりすることが大切だよね！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・自分の健康に気をつける
- ・医療費にかかるお金のバランスを安定させる
- ・地域の医療環境が充実し安心して暮らせる



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 健康的な食に関する知識を普及させる
- 自殺予防に取り組む
- 医療機関などと連携して医療体制を充実させる
- 生活習慣病を予防する

といった施策を行なっていくんだ！



毎日の健康づくりが、病気の予防には大切よね！

## 目標像8 を達成するために 私たちができること

多世代との様々な  
関わり合いを積極  
的に増やします。

事業者は社員  
や地域住民の  
健康づくりを  
応援します。

毎日の適度な運  
動を心がけます。

運動を通して地域に貢献します。  
(ごみ拾い×ウォーキングなど)

歩数計やスマートフォ  
ンのアプリを使った健  
康管理を行います。

地域のスポーツ  
イベント、クラ  
ブ活動などに関  
心を持ちます。

身近な自然を  
楽しみながら  
心の健康を維  
持するように  
心がけます。

ラジオ体操や  
ウォーキングの参  
加者が増えるき  
っかけづくりを考  
えます。



～和光 100 年まちづくり会議からの提案～

和光の食育事業

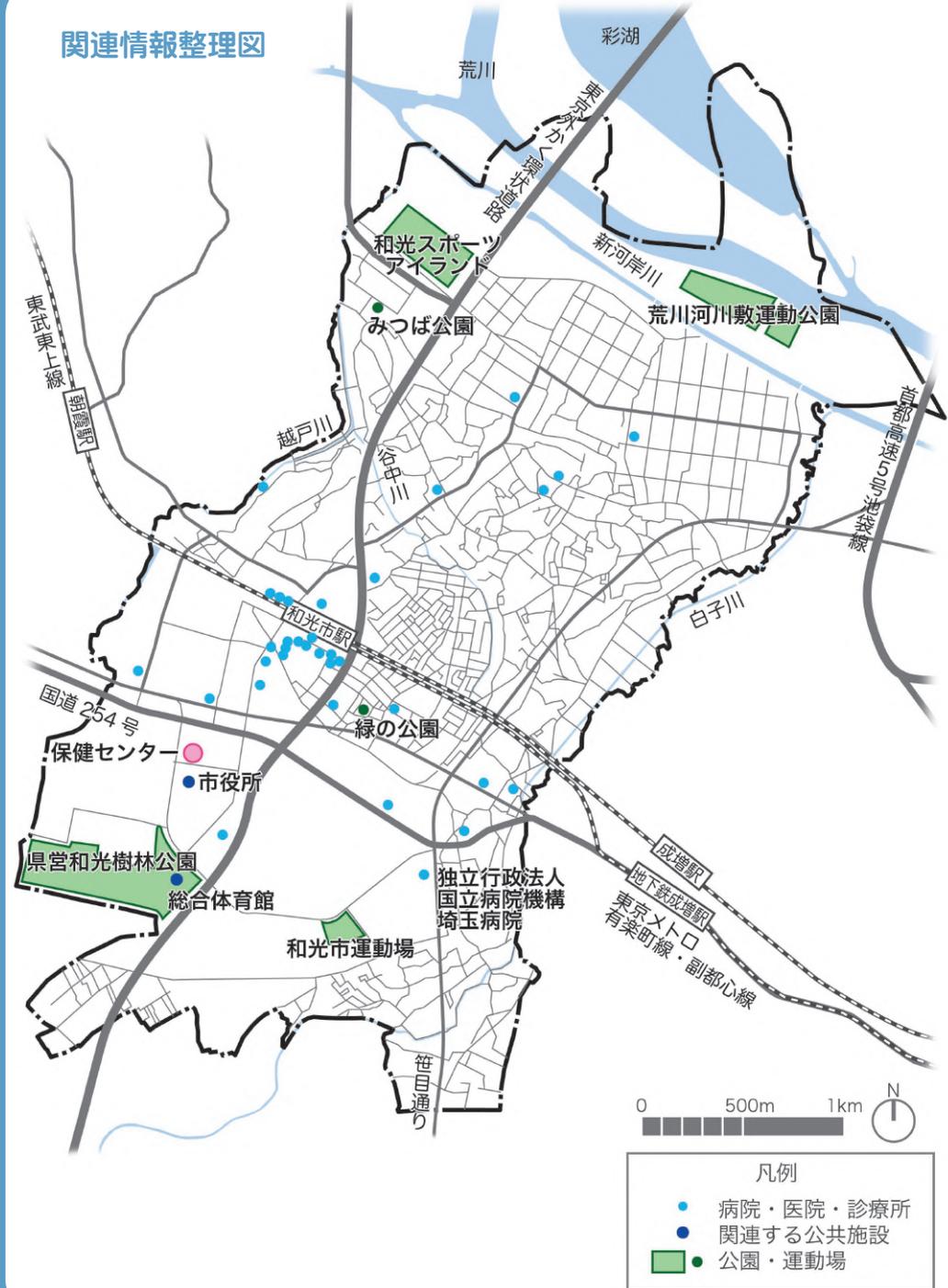


クッキングサポート  
メニューサンプル



健康フェア  
減塩チェックイベント

## 関連情報整理図





# いきいきと仕事をし続けられる



いきいきと仕事をし続けるためには何が必要なのかな？

和光市の企業や産業が発展することが大切だね！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・市内の個人商店や工場に活気があり、まちの魅力がある
- ・農地が保全され、農のある暮らしを楽しめる
- ・和光市の立地を生かした産業が発展し、まちが元気である
- ・市内で起業することや、事業を承継することができる
- ・働きたい人が、仕事を見つけ、働くことができる



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 和光北インターの東部地区に交通が便利なことを生かした産業拠点を作る
- 市内中小企業等の経営支援をしていく
- 理化学研究所などが持つ技術等を活用した新しい産業の創出を目指す
- 市内で作られた農産物を手軽に購入できる機会や場を充実させる
- 就労等に関する情報提供や講座の開催を行う

といった施策を行っていくんだ！



みんなが元気に働くことで和光市も元気なまちになるものね！



# 趣味などを通して 充実した時間を 過ごせる



趣味などを通して充実した時間を過ごすのは、楽しいよね！

毎日の生活に楽しみができるし、新しい友達もできるもんね！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・みんなが趣味やスポーツなどを通して楽しい人生を送っている
- ・趣味やスポーツを始めたい人が、始めるきっかけに出会える



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 公民館や図書館を活用し、学習機会の充実を図る
- 和光市ゆかりの文化人や伝統芸能を活用、発信する
- 新たに整備する市民プールなどのスポーツ施設を活用していく

といった施策を行っていくんだ！



毎日の生活に張り合いが出て、楽しく暮らせそうね！わくわくするわ！

## 目標像 10 を達成するために 私たちができること

市民団体への新規参加者勧誘に力を入れます。

SNS、広報、イベントなど様々なツールを活用し、地域の情報に関心を持ちつつ、情報発信も行います。

空家、公共施設、緑地など、既存の空間を有効活用した活動を行います。

スポンサー（資金援助や場所提供など）として地域活動を応援します。

同じ趣味を持つ人を探し、集まれる機会をつくります。

スポーツ大会の企画など、切磋琢磨できる工夫を考えます。

個々の市民団体の強みを生かした活動を展開します。



～和光 100 年まちづくり会議からの提案～

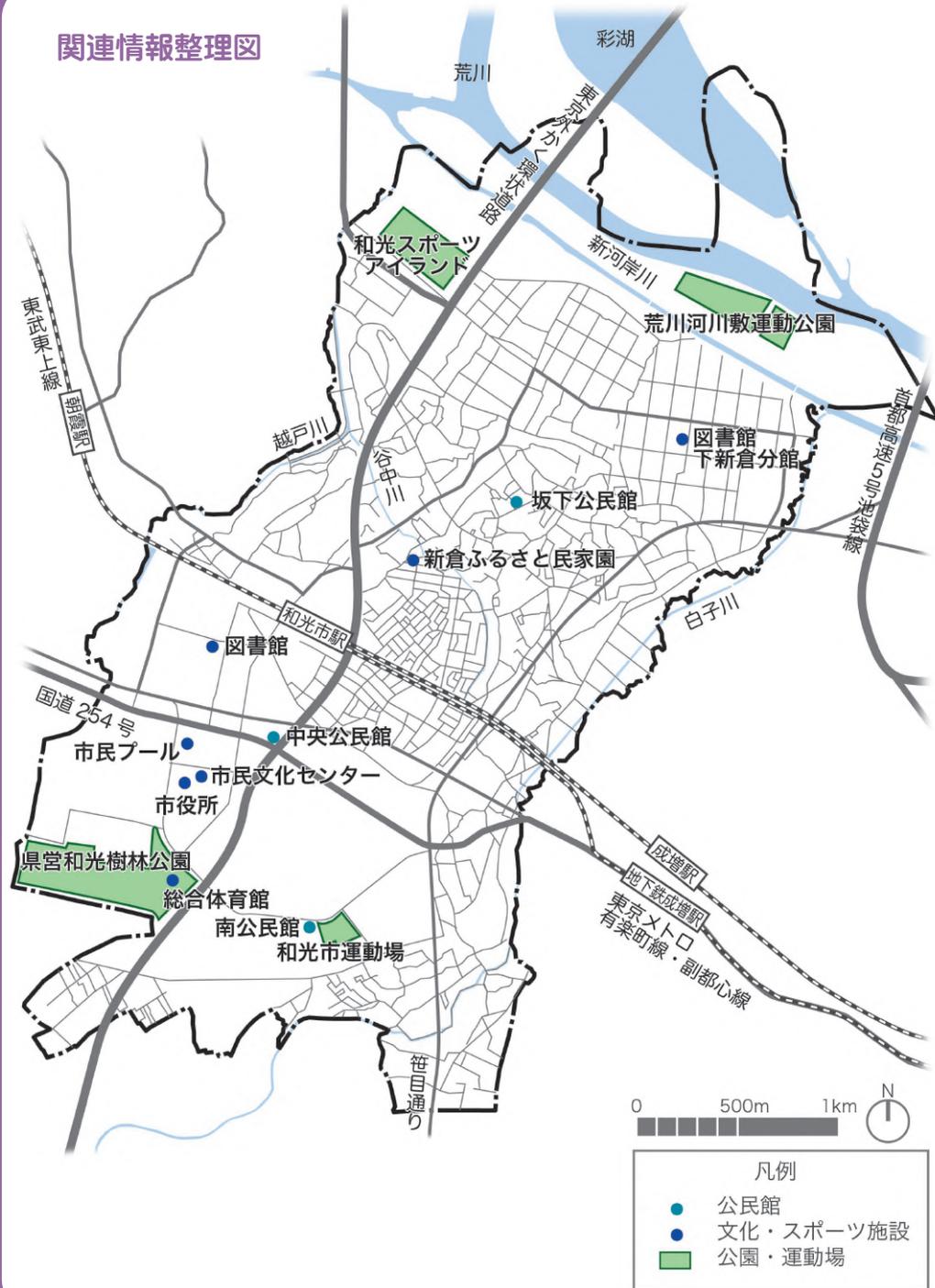


公民館講座



市民体育祭

## 関連情報整理図





# まちや人と つながり 心豊かに過ごす



まちや人とつながり心豊かに過ごすためには何が大切かな？

地域活動への参加や外国人への理解が大切になるね！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・ 地域活動を通して、人とつながり、心豊かに過ごしている
- ・ みんなが地域とつながり、困ったときや災害時に一人ぼっちにならない
- ・ 外国人も地域に馴染みやすい環境になっている



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 自治会活動の大切さを幅広くPRしていく
- 地区社会福祉協議会の活動を支援する
- 地域に関わる新たな人材を発掘・支援する
- 地域で活動する人や団体をつなげる
- 国際姉妹都市であるロングビュー市との交流を行う



といった施策を行なっていくんだ！



コミュニティが豊かになれば、何かあった時に助け合えるものね！

## 目標像Ⅱを達成するために私たちができること

自分の得意なことを生かしてボランティアや市民団体に活動します。

楽しみながらも地域の課題に取り組めるような活動に関心を持ちます。

SNS、広報、イベントなど様々なツールを活用し、地域の情報に関心を持ちつつ、情報発信も行います。

外国人や転入者への積極的な声掛けをします。

まずはあいさつなど、コミュニケーションの第一歩を踏み出します。

様々な団体や活動が連携することにより、発展することを目指します。

公民館、空家、庭先などを活用したご近所の居場所づくりに関心を持ちます。



～和光100年まちづくり会議からの提案～

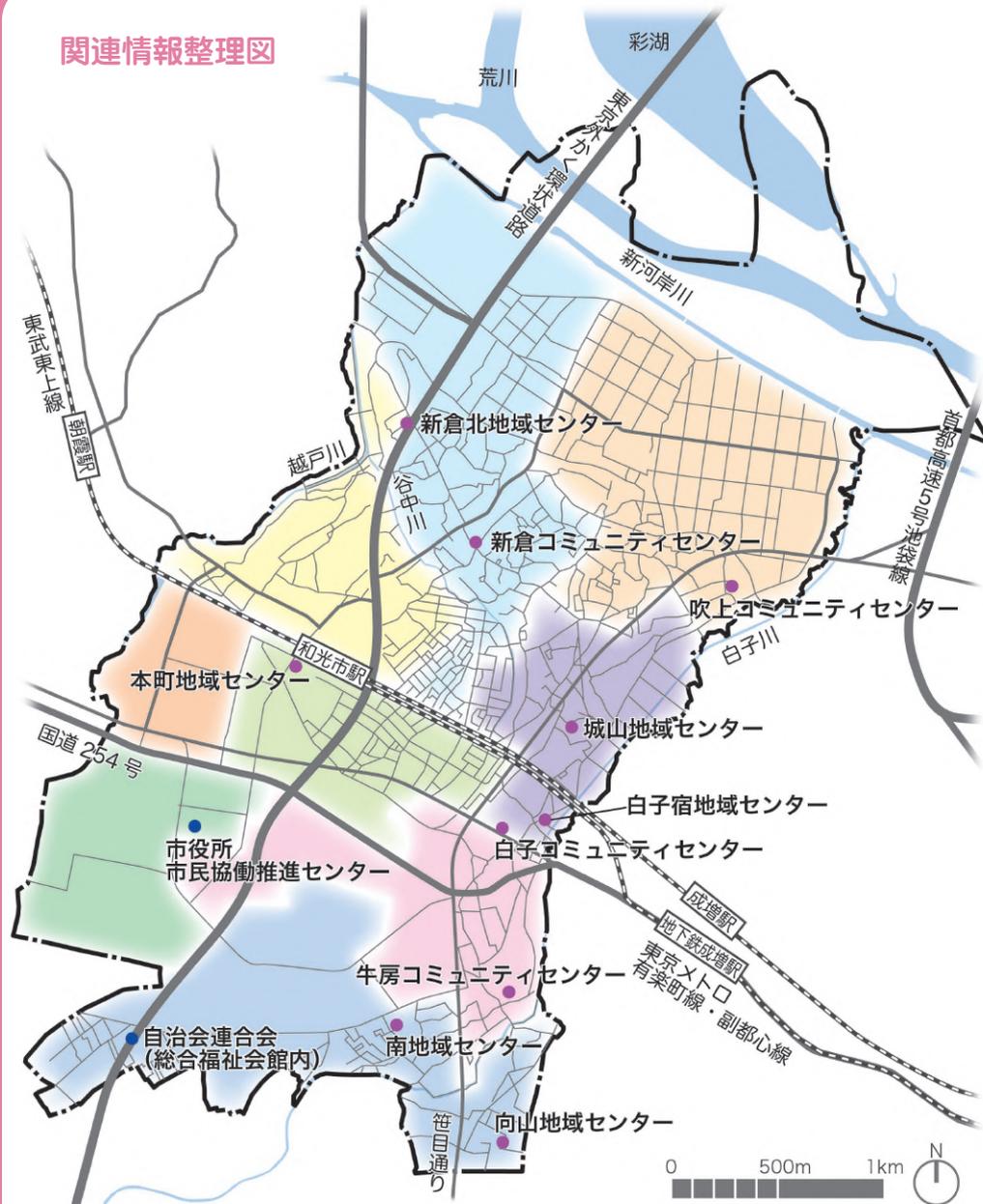


ロングビュー市との国際交流



わこう郷土かるた(わこうっかるた)協働事業提案制度(市民提案)により作成

## 関連情報整理図



- 凡例
- コミュニティセンター
  - 地域センター
  - 市民協働推進センター
  - 自治会連合会

※地図上の色分けは、地域コミュニティの単位である小学校区を示しています。

# シビックプライドを持っている



シビックプライドって何かな？持ったらどうなるの？

シビックプライドは、住んでいるまちを良くしていこうとする気持ちのことだよ！そうすると、市外の人も来なくなるよ！例えば、こんな姿を目指しているんだ！



## 【どのような姿を目指したいのか】

- ・市民がこれからも和光市に住み続けたいと思っている
- ・和光市を訪れたい、住んでみたいと思われている
- ・みんなが地域の魅力やポイントを知っている



この姿を実現するためには、どんなことをするの？

例えば・・・

- 都市と自然との調和のとれた和光市らしい景観を形成する
- 国史跡指定を受けた午王山遺跡の保存・活用に取り組む
- 緑地や湧水などを守っていく
- 市の特産物などである和光ブランドの新規認定商品の開発
- 和光市の魅力を積極的に情報発信していく

といった施策を行なっていくんだ！



みんながこれからも和光市に住み続けて、和光市を訪れる人も増えるわけね！



# 施策の一覧

将来都市像

みんなをつなぐ  
ワクワクふるさと  
和光



## 視点① 日々の生活の基盤が整っている

**目標像1**  
良好な生活環境が  
得られる



施策

- 1-1 安心して暮らせる居住環境の形成
- 1-2 計画的な公園の整備と維持管理の充実
- 1-3 安全な水の安定供給
- 1-4 公共下水道の維持管理
- 1-5 行政窓口サービスの向上
- 1-6 廃棄物の適正処理の推進
- 1-7 環境にやさしい持続可能な取組の推進

**目標像2**  
安全かつ快適に  
移動できる



施策

- 2-1 安全で快適な道路の整備
- 2-2 利便性の高い地域公共交通網の形成
- 2-3 交通安全対策の推進

**目標像3**  
身の回りの  
生活上の不安が  
軽減される



施策

- 3-1 防災体制・消防支援体制の強化
- 3-2 地域と連携した防犯対策の推進
- 3-3 消費者や市民が相談しやすい体制づくり
- 3-4 人権啓発・教育及び平和の推進
- 3-5 男女共同参画社会の実現

## 視点② それぞれのライフステージを充実させる

**目標像4**  
子どもが  
自己肯定感を持ち  
健やかに育つ



施策

- 4-1 確かな学力と自立する力の育成
- 4-2 豊かな心と健やかな体の育成
- 4-3 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実
- 4-4 多様なニーズに対応した教育の推進
- 4-5 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進
- 4-6 安全安心な学校施設の整備
- 4-7 児童や青少年の居場所づくり

**目標像5**  
安心して  
妊娠・出産・  
子育てができる



施策

- 5-1 出産や育児に希望が持てる環境づくり
- 5-2 子育てと仕事の両立支援

**目標像6**  
高齢になっても  
住み慣れた地域で  
暮らし続けられる



施策

- 6-1 高齢者の生きがいと社会参加への支援
- 6-2 きめ細かな介護予防の推進
- 6-3 高齢者の暮らしを支える仕組みの充実

**目標像7**  
誰もが  
自立した生活と  
社会参加ができる



施策

- 7-1 障害者が安心できる障害福祉の推進
- 7-2 低所得者の生活の安定と自立への支援

## 視点③ 心豊かに、満足度の高い生活が送れる

**目標像8**  
健康に日々を  
暮らしている



施策

- 8-1 一人一人に応じた健康づくりの推進
- 8-2 地域との連携による保健・医療体制の充実
- 8-3 国民健康保険及び国民年金の適正な運営

**目標像9**  
いきいきと仕事を  
続けられる



施策

- 9-1 交通の利便性を生かした産業拠点の創出
- 9-2 中小企業・小規模事業者の育成支援
- 9-3 魅力ある新たな産業の創出
- 9-4 都市農業の推進と担い手の育成
- 9-5 就労支援対策の推進

**目標像10**  
趣味などを通して  
充実した時間を  
過ごせる



施策

- 10-1 生涯学習の振興
- 10-2 創造的な文化の振興
- 10-3 スポーツ・レクリエーション活動の推進

**目標像11**  
まちや人と  
つながり  
心豊かに過ごす



施策

- 11-1 コミュニティ活動の推進
- 11-2 地域で支え合う福祉の推進
- 11-3 協働によるまちづくりの推進
- 11-4 国内外の交流と多文化共生の推進

**目標像12**  
シビック  
プライドを  
持っている



施策

- 12-1 良好な景観形成の推進
- 12-2 歴史的・文化資源の保護・活用
- 12-3 湧水・緑地の保全と再生
- 12-4 市の特色を生かした地域ブランドの確立
- 12-5 効果的なシティプロモーションの展開

## 和光市の総合振興計画

和光市は、2020年10月31日に市制施行50周年を迎えました。  
第五次和光市総合振興計画は市制施行50周年の節目にあたる計画であり、和光市になってからは、5回目の計画になります。

第五次和光市総合振興計画は、2020年度に第四次和光市総合振興計画が期限を迎えることから、2018年度から見直し作業がスタートし、2020年度に策定されました。（計画期間は10年間です。）



## みんなが関わってつくった 第五次和光市総合振興計画

第五次和光市総合振興計画は、2年間の策定期間の中で、さまざまな調査を行った上で、たくさんの人と一緒に考えながら作られました。

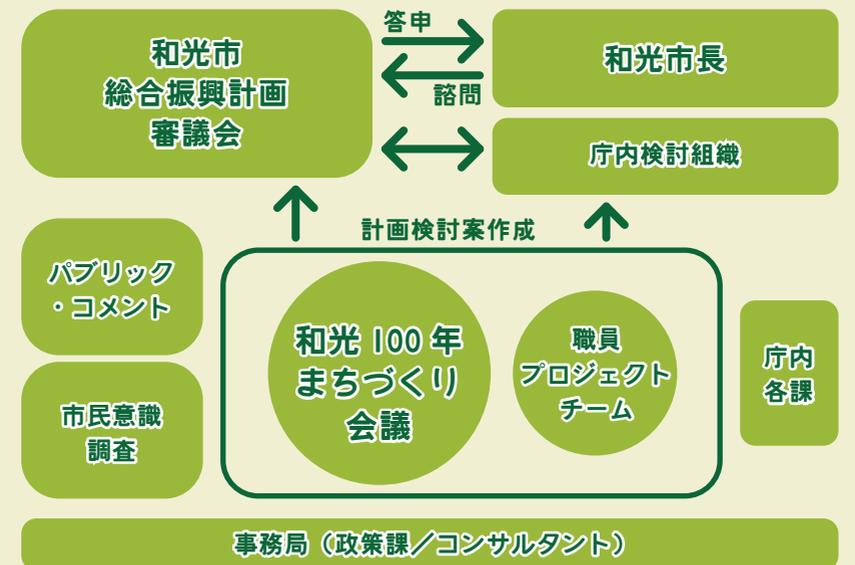
まず、調査では、和光市の人口予測などのデータ分析や市役所での仕事の状況を確認するなど、現在の状況を整理しました。さらに、市民意識調査を実施し、ランダムに選ばれた市民のみなさんから和光市での困りごとや和光市の良いところなどの意見を集めました。

また、市民のみなさんと市役所の若手職員とが一緒になってまちづくりについて話し合う場として、和光100年まちづくり会議を開催しました。

これらをもとに、総合振興計画のもととなる構想骨子を作りました。作られた構想骨子は、審議会で審議をし、委員のみなさんからのアドバイスを参考にしながら作り上げていきました。

このように総合振興計画は、たくさんの人々の手で作られています。

（審議会とは、地域団体の代表者、公募による市民、学識経験者などが参加する委員会のことを言います。）



## 和光100年まちづくり会議

2021年からスタートする第五次和光市総合振興計画は、次の50年のスタートとなる大切な総合振興計画となります。そこで、これまでの50年、これからの50年を市民・職員で語り合いながら、まちづくりを進めたいとの思いから、計画策定に関わる「和光100年まちづくり会議」を立ち上げ、計4回のワークショップを開催しました。

### ★第1回ワーク（イメージワーク） 「和光の未来をイメージしてみよう！」

市民参加、職員参加の第一歩として、計画策定に関わる参加者の「みんなで作る」意識と気持ちを高めるワークショップを行いました。



### ★第2回ワーク（キーワードワーク） 「和光における人生と生活像の キーワードを考えてみよう！」

「まちづくりのコンセプト（将来都市像）」と「市民生活の目標像」を描くためのキーワードやフレーズを検討するワークショップを行いました。



## みなさんに総合振興計画を知っていただきたい！

この本は、第五次和光市総合振興計画（基本構想）の概要版として、みなさんに基本構想の内容を知っていただけるように読みやすく作り直した物です。基本構想は和光市公式ホームページで閲覧することができます。

この本をきっかけに、さらに深く基本構想の内容や和光市のことを知っていただき、みなさんと一緒に未来の和光市をつくっていきたいと思っています！

これからも、よろしくお願いいたします。



### ★第3回ワーク（アイデアワーク） 「市民のできることを 考えてみよう！」

「市民生活の目標像」の実現に向けて、12の目標像ごとに市民ができる取り組みアイデアを抽出するワークショップを行いました。

### ★第4回ワーク（アクションワーク） 「みんなのPRから交流を深めよう！」

前半では「私ができること（得意なこと）」を参加者の前で自己PRし、参加者同士のつながりや個人での目標像への関わり方を考えました。後半では、第3回ワークのアイデアを基に作られた「市民ができること（たたき台）」について確認や修正を行いました。



会議の様子は 和光市 Youtube チャンネル で見れるよ！

<https://www.youtube.com/watch?v=d9eZ1f-70Nw>



## 未来の和光をつくるのはあなた！

和光市公式ホームページ  
（総合振興計画のページ） **はこちら！**

[http://www.city.wako.lg.jp/home/shisei/kihonseisaku/\\_5699/soushin.html](http://www.city.wako.lg.jp/home/shisei/kihonseisaku/_5699/soushin.html)



和光の未来を知るブック／和光の未来を考えるワークブック  
第五次 和光市総合振興計画 基本構想 2021～2030【概要版】

令和3年3月発行  
和光市（企画部政策課）

編集・デザイン：（株）梵まちづくり研究所

← ここから先は、将来都市像や市民生活の目標像といった、第五次和光市総合振興計画を理解するための説明です。

ここから先は、和光市のまちづくりを考える際に、アイデアや意見を生み出しやすくするためのワーク手法を紹介します。 →

**13** 65才 **第2の人生**

定年を迎え、この先の第2の人生ステージをどのように過ごしますか。

1. 孫と楽しく過ごしたい。
2. シルバー人材センターに登録するなど、地域のためになることをしたい。
3. まだまだ働きたい。働き続けなければならない。
4. 新しい趣味や特技を見つけたい。
5. その他 ( )



**14** 72才 **老い**

少しずつ身体が弱ってきました。安心した老後生活には何が必要ですか。

1. 地域に頼れる医療機関やお医者さんがいること。
2. 身体が弱っても移動手段が確保されていること。
3. 介護福祉サービスの充実。
4. 日用品や生鮮食品を購入するための移動販売車や宅配といった新しい買い物環境。
5. その他 ( )



**9** 42才 **町内会**

町内会に入ることになり、さっそく防災担当になりました。何を重点的に取り組みますか。

1. 防災訓練の充実。
2. 非常食や防災グッズの備蓄強化。
3. 住民どうしが顔見知りになれる催しを企画。
4. 緊急速報などの情報が直ちに受信できる環境整備や情報の多言語配信。
5. その他 ( )



**10** 47才 **休日の過ごし方**

子どもがだいふ大きくなり、休日を夫婦や友達と楽しめるようになりました。どのように過ごしますか。

1. 電車で池袋や渋谷などにお出かけする。
2. 市内のおいしい飲食店に行く。
3. 和光スポーツアイランドや図書館などの地元の文化施設で楽しむ。
4. まち歩きをしたり、健康づくりをする。
5. その他 ( )



**15** 85才 **ひとりぼっち**

長年苦楽を共にした連れ合いに、とうとう先立たれてしまいました。これからどのように暮らしていきますか？

1. お年寄りが気軽に集まれるコミュニティカフェに行く。
2. 子どもや孫と同居して、困ったことは助けてもらう。
3. 親族に世話をしてもらうのも気兼ねするので、高齢者向け施設に入所する。
4. 新しい恋人を見つけて一緒に暮らす。
5. その他 ( )



**11** 52才 **伝えたいことば**

いよいよお別れの時です。和光市に住む後輩たちに、最後に何を伝えたいですか？

ご自由にお書きください。



**11** 52才 **地域との関わり方**

ふと気づけば子どもは独り立ちし、子育て以外にも関心が強まってきました。どのような活動をしたいですか。

1. 地域の福祉や教育に関するボランティア・サークル活動に参加する。
2. フリーマーケットへの出店やお祭りのお神輿担ぎなど、地域イベントに参加する。
3. 仕事で培ったキャリアを活かし、和光の人々に役立つ事業を起こす。
4. 会社が忙しいので、地域とは関われない。
5. その他 ( )



**12** 56才 **まちづくり**

周りからの推薦もあり、市議会議員選挙に立候補することになりました。どのようなまちづくりに取り組みたいですか。

1. 安全な道路整備など都市インフラの充実。
2. 生きる力・学ぶ力を育む教育の充実。
3. 和光ブランドを強化して、観光PRや見所づくりに力を入れる。
4. 健康づくりや医療福祉にもっと予算をつける。
5. その他 ( )



5 28才 出産

見事にゴールイン！ 2人の新婚生活も楽しいですが、そろそろ子どもを産みたいと考えています。どのようなサポートが必要ですか。

1. 働き先の理解やサポート。
2. 産婦人科や小児科などの医療環境の充実。
3. 保育園や学童の充実。
4. パートナーの理解と協力。
5. その他 ( )



6 31才 育児

子育て中の私は不満がたまりにたまってカリカリしています。なぜだかわかりますか？

1. ママ友パパ友がなかなかできない。
2. 子育て支援の仕組みがわかりにくいし、手続きも面倒。
3. 仕事に復帰したいが、適当な仕事がないし、タイミングも難しい。
4. ベビーカーを押せない凸凹道が多すぎ！
5. その他 ( )



1 小学生 遊び場

小学生のあなたは、今日は大の仲良しのさつきちゃんと遊ぶ約束をしています。さあどこで遊びますか。

1. 公園や河川敷で遊ぶ。
2. 家の前の道路でボール遊びをする。
3. 児童館で遊ぶ。
4. 家でテレビゲームやスマホで遊ぶ。
5. その他 ( )



2 中学生 課題研究

中学校の授業の一環で、チームで課題研究に取り組むことになりました。何について調べますか。

1. ゴミのポイ捨てやリサイクルについて。
2. 道路の渋滞、排ガスや騒音について。
3. 屋敷林や農地などの自然について。
4. 湧き水や白子川・越戸川などの水環境について。
5. その他 ( )



7 34才 新居

子どもが少し大きくなり、今の家では手狭になってきました。どのような住まい方をしたいですか。

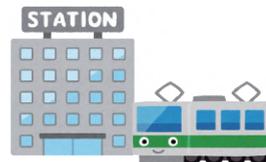
1. 和光の実家で親・自分・子どもの三世代で、一つ屋根の下に住む。
2. 和光に住むが、親とは別居する。
3. 和光よりも地価の安いまちに引っ越す。
4. 手頃な物件がないので、しばらく我慢する。
5. その他 ( )



8 38才 通勤

お仕事お疲れ様です。毎日の通勤がもっと快適なるにはどうしたら良いですか。

1. 坂道が多いので、駅と各所を結ぶバスの増便やデマンドタクシーの普及。
2. 駅周辺の朝・夕の混雑解消。
3. マナーの悪い自転車をなくす。
4. 街灯の少ない夜道を明るくする。
5. その他 ( )



3 高校生 進路選択

高校を卒業します。これからの進路は、どのような道に進みますか。

1. 和光市周辺で仕事を見つけたい。
2. 通える範囲で進学したい。
3. 海外留学したい。
4. 就職して新しい街に引っ越したい。
5. その他 ( )

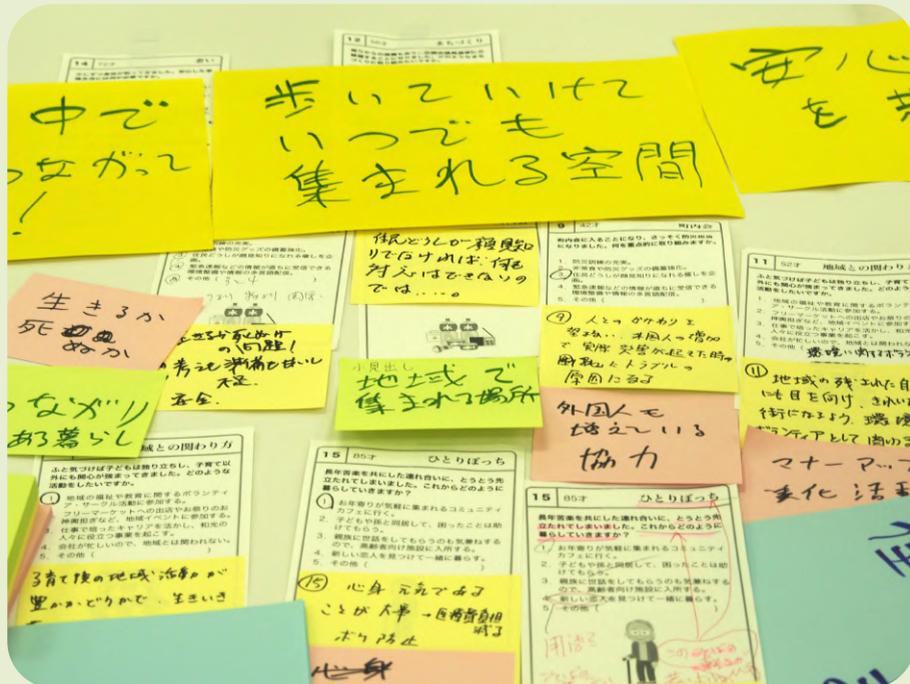


4 24才 故郷紹介

よそのまちに住む大好きな恋人に、我がまち和光市を初めて紹介します。どこを案内しますか。

1. 和光樹林公園や柿ノ木坂湧水公園などの自然をめぐる。
2. 新倉ふるさと民家園や長照寺などの歴史文化をめぐる。
3. ホンダや理研の施設を紹介する。
4. 新倉うどんや鍋グランプリなどグルメを味わう。
5. その他 ( )





カードを選んだ理由をふせんに書き、グループ内で発表しながら議論や整理をしていく。最後に新しく意見やキーワードを追加していき、まとめる。

		①	②	③	④	⑤	
1	小学生	遊び場	20	3	6	3	2
2	中学生	課題研究	5	5	8	13	3
3	高校生	進路選択	0	13	18	0	3
24才		故郷紹介	7	8	5	10	4
28才		出産	4	7	8	8	7
31才		育児	3	10	8	2	11
34才		新居	1	15	6	8	4
37才		通勤	9	8			

上げられた旗の数を集計係がカウントし、集計表にすばやく書き込む。

チームごとにまとめた結果を全体に発表する。模造紙を持つ人、読み上げる人などで、協力して発表する。



それぞれが発表しながら議論を進める。

- 最後のカード（伝えたいことば）と合わせて4枚を次のプログラムで使うため、その他のカードや旗は片付けておく。
- この時間の間に、司会は旗上げアンケート集計結果を紹介しても良い。

### STEP 3 グループ作業（30～50分）

- 5～7人のグループをつくる。
- グループ内で各自が選んだ4枚のカードを、順次発表しながら、模造紙上に整理していく。（最後のカード「伝えたい言葉」は自己紹介に使っても良い）
- カードの分類や関係を全員で考えながら、追加のふせん記入や書き込みをし、まちの課題やまちづくりのテーマを整理する。

### STEP 4 発表（15～25分）

- グループごとに模造紙にまとめた検討結果を全体に発表する。



司会の読み上げる質問に従って、カードに丸をつけて旗を上げる。

## 🕒 進め方

### 準備

- 和光市で一生を暮らす上で考えられる人生の節目を、質問として15問程設定する。それぞれの質問には5つの選択肢を用意する。
- 人生ゲームカードにはイメージイラストを載せる。
- 人数分のセットを用意する。（1セット15～20枚程度）

### STEP 1 旗上げアンケート（20～30分）

- 司会は1枚目のカード内容（テーマ・年齢・質問・選択肢）を読み上げる。
- 参加者は5つの選択肢の中から自分の考えに最も近いものを選び、カードに○印をつけ、その番号の旗を高く上げる。
- 司会は旗上げ結果についてコメントする（何番が一番多いかなど）。また、「その他」に上げた1～2名に内容を紹介してもらう。
- 集計係（複数名）が、旗の番号をカウントし、会場全体に見える集計表に書き込む。

### STEP 2 カード選び（10分）

- カードの中で選択に迷った質問や、重要なテーマが含まれていると思うカードを3枚選ぶ。また、そのカードを選んだ理由を黄色いふせんに書き、カードの下に貼る。

## 道具

人生ゲームカード	1セット / 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1セット15～20枚程度（クリップでまとめておく）</li> <li>・あらかじめカード内容を検討し、カードセットを作成する。（15～20の和光市における人生の場面を設定し、カードの選択肢にはまちの特徴や課題をバランスよく入れ込む）</li> <li>・和光市におけるカード例が本誌（P34～37）に付いています</li> </ul>
旗	1セット / 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1セット（1～5番の小旗）</li> </ul>
集計表	1枚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上げられた旗の数を集計係がカウントし、集計表に人数を書き込む</li> </ul>
ふせん	5～20枚 / 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貼って剥がせる市販の商品</li> <li>・色の違う物を用意して使い分けても良い</li> </ul>
サインペン	1本 / 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを記入してもらうために、受付に置いておく</li> </ul>
マジック	1セット / グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの色を揃えておくと作業しやすい</li> </ul>
模造紙	1～2枚 / グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく使いたいときは、2枚をテープでつなぐと良い</li> <li>・マジックなどが裏に染み付かないように注意</li> </ul>
テープ	1個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードや模造紙を固定するのに使う</li> </ul>

## 役割分担

司会	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問を読み上げたり、参加者にコメントを伺う</li> </ul>
集計係	2～3人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旗上げの結果を数え、表などに記録する</li> </ul>

## ねらい

まちづくり人生ゲームとは、人生の様々な局面（進学、就職、結婚、出産、子育て、定年退職など）における選択肢をあらかじめカードとして用意し、それぞれの場面における自分自身の選択を考えながら、まちづくりの課題や方向性を探るものです。

人生のさまざまな節目において選択肢に悩みながら、まちと自分にどのような関わりがあるかを考えることで、参加者が身近な問題としてまちを捉えることをねらいとしています。また、ゲーム性や物語性が備わっているため、固苦しい内容を和らげ、楽しく参加できるプログラムになっています。



和光市オリジナルまちづくり人生ゲームカード（15枚で1セット）

# まちづくり人生ゲーム

ワーク手法 応用編

（70～120分）

## 🕒 進め方

### 準備

- 参加者は受付で「私がまちにできることカード」を受け取り、記入して司会に渡す。
- 司会はカード全てに目を通し、整理しておく。
- 参加者全員で輪になって座る。

### STEP 1 輪になって自己PR（10～30分）

- 司会はカードのうち、PR希望者を適宜指名する。
- 指名された参加者は1～2分程度で「私ができること」を発表する。
- PR希望者全員の発表が終わったら、まだPRしていない参加者の中で自己紹介したい人がいないかを尋ね、一言でもお話ししてみないかと促す。
- 発表済みの参加者で、さらに追加で話したい人には話してもらおう。また、関連しそうな参加者同士の意見交換や情報交流を促す。

### STEP 2 ふりかえりのまとめ（3～5分）

- 司会が、今日あがった話題、テーマ、生まれた交流など、ワークの成果をふりかえる。
- そのまま解散する場合は、終了後に参加者同士が交流できる場と時間を少し作っておく。
- このワークをアイスブレイクとして、他のワークプログラムに繋げることも可能。（連続ワークの最終回にまとめや意志発表として、自己PRを行うことも効果的である）



自分の特技や趣味について、楽しく話すことで交流が生まれる。



地域の問題やボランティア活動について話すことで課題を共有する。

私がまちにできる(1)と  
(自己紹介と交流)

ねらい

市民一人一人がまちづくりのアクションを起こすためには、自分が地域のためにできることを考え、周りの人に伝え、それをきっかけに交流の輪を広げていくという最初の小さな一歩が大切です。

私がまちにできることカード(自己PRカード)を事前に記入し、参加者が輪になって、司会の進行に従い、発表したい人がPRをし、まちづくりの小さな芽・意志を共有しましょう。それをきっかけに交流を進め、連携を考えていきましょう。



みんなで輪になって、司会の進行のもと、自己PRを順番に進めていく。

自己PRカード

お名前(ニックネームも可)

和光太郎

①自己PR あなたの得意なこと、できること、活動していること等をお書きください。

学生時代は美術部  
でした。絵を描くのが  
得意です! 😊

②この自己PRを... 1つ選んで○をしてください。

紹介したい / どちらでも良い / 特に紹介しなくて良い

受付でカードを受け取り、事前に記入しておく。ワーク開始時に司会に渡す。簡単な名前紹介だけでも良い、たくさんPRしたい人は多めに話しても良い。

道具

私がまちにできることカード(自己PRカード)	1枚 / 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が得意なことやまちのためにできることを紹介する記入欄を設ける</li> <li>自己PRを紹介したいかどうかを○印をつけて確認する欄を設ける</li> </ul>
サインペン	1本 / 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードを記入してもらうために、受付に置いておく</li> </ul>

役割分担

司会	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者から受け取った自己PRカードをもとにPR内容の近い人同士のマッチングやコーディネートを行う</li> </ul>
----	----	--

- 新しいメンバーで続きの話し合いをはじめ、追加でカード（ふせん）を書き出して模造紙への貼り出しを進める。
- STEP 2～3を数回程度くりかえす。

## STEP 4 発表（10～20分）

- 各テーブルでの検討結果（意見の積み重ね結果）を、テーブルごとに全体に発表する。



会場にいくつかのテーマ別コーナーをつくり、そこに興味のある人が集まり議論・検討をする。



入れ替わったメンバーで議論の続きを行う。

## 🕒 進め方

### 準備

- 5～7人程度でチームを作り、テーブルを取り囲む。カード（ふせん）、マジック、サインペン、模造紙などを置く。

## STEP 1 グループディスカッション（10～20分）

- 決められたテーマについて、グループ内で意見を出し合い、カード（ふせん）に書いて貼る。
- 模造紙に直接書きこむなど、検討記録をつくっていく。

## STEP 2 入れ替えタイム（2分）

- メンバーの入れ替えタイムをとる。
- テーブルに残る1名を決める。（ファシリテーターが残る、くじやジャンケンで決めるなど）
- 他のメンバーは、好きなテーブルや、指示されたテーブルへ移動する。
- テーブルごとに異なる検討テーマを設定し、好きなテーマのテーブルに移動する方法でも良い。
- 各テーブルの人数が偏らないよう注意する。

## STEP 3 新しいメンバーでディスカッション（10～20分）

- 新しいメンバーで、各テーブルのディスカッションを再開する。
- テーブルに残った参加者は、新しいメンバーに、話し合いの経過（模造紙記録の内容）を紹介する。

# メンバーを入れ替えながら ワークする

## ねらい

参加者が多い場合には、一般的に5〜7名ほどのグループに分かれてディスカッションをしますが、途中で時間を区切って、グループの顔ぶれをシャッフルする方法もあります。

グループメンバーが入れ替わることで、より多様な意見に触れることができ、議論の活性化が図れます。



グループ内で10〜20分ディスカッションを行う。

## 道具

カード (ふせん)	5〜20枚 /人	・大きく使いたいときは、2枚をテープでつなぐと良い
サインペン	1本/人	・ふせんに記入する時に使用する
マジック	1セット /グループ	・いくつかの色を揃えておくと作業しやすい
模造紙	1枚 /グループ	・全員が見やすいように壁に貼る(ホワイトボードやパネルを使っても良い)(テーブルに置いても良い) ・まとめて用意して、めくって使う ・マジックなどが裏に染み付かないように注意

## 役割分担

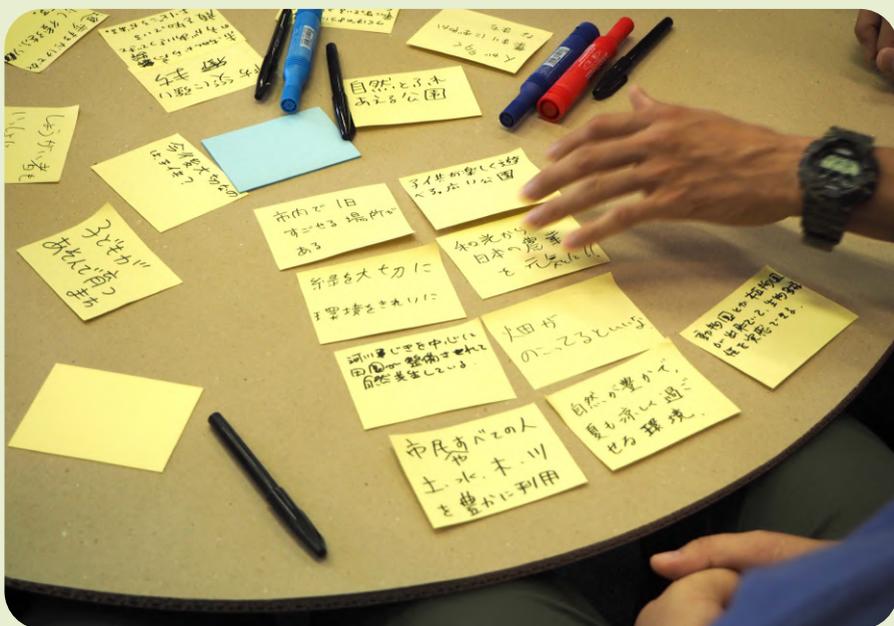
・司会	1人	・グループメンバー入れ替えの案内やタイムキーパーとして全体をサポートする
-----	----	--------------------------------------



グループごとに1人のメンバーを残して他のメンバーは違うグループに移動し、ディスカッションを行う。



円形ダンボールの上に自分の意見を書いたふせんを貼り出す。



貼り出したふせんをグループ化したり、マジックで関係性を表して、まとめる。

## 🕒 進め方

### 準備

- グループごとに、参加者3～6名が椅子を持って集まり、膝を突き合わせて輪になって座る。
- 膝の上に円形ダンボール（円形模造紙つき）を置き、カード（ふせん）、サインペン、マジックなどの道具を上のにせる。

### STEP 1 円形ダンボールを使った話し合い・意見出し(15～30分)

- テーマについて自由な話し合いや意見出しを進める。
- 意見は各自がカード（ふせん）に書き出し、発表しながら円形ダンボールの上に貼り出していく。（参加者の発言内容をファシリテーターがカードに書きとめて貼る方法や、書きとめ役が円形ダンボールにマジックで直接書きとめていく FG 手法でも良い）
- 意見の貼り出しや書きとめは、円形ダンボールを回転させながら進めて、360度全方向から見えるようにまとめる。
- なるべく、参加者全員で手を動かし、記入やまとめをしていく。

### STEP 2 発表(15～25分)

- グループごとに結果を全体に向けて発表する。
- 円形ダンボールをそのまま発表ステージに持っていき、発表に活用する。

## 円形ダンボールを使ってみよう

## ねらい

アイスブレイク（最初の緊張をときほぐす時間帯）や、楽しい雰囲気をつくりながらみんなで意見を出してまとめていく方法として、円形ダンボールを使う方法があります。

膝の上にダンボールをのせて囲むことで、一体感や参加意識が芽生えます。



椅子に座った参加者の膝の上に円形ダンボールをのせる。



円形ダンボールは通信販売で購入でき、円形模造紙とセットになっている。

## 道具

カード (ふせん)	5〜20枚 /人	・貼って剥がせる市販の商品 ・色の違う物を用意して使い分けても良い
サインペン	1本/人	・ふせんに記入する時に使用する
マジック	1セット /グループ	・いくつかの色を揃えておくと作業しやすい
円形 ダンボール	1枚 /グループ	・付属している円形模造紙をそのまま使う（円形ダンボールは次回も新しい円形模造紙を貼って使うので保管しておく） ・通信販売で購入可能
椅子	1脚/人	・円になって椅子に座り、円形ダンボールを膝にのせる
テープ	1個	・ふせんや模造紙を固定するのに使う

## 役割分担

司会	1人	・設問を読み上げたり、参加者にコメントを伺う
----	----	------------------------



司会が質問をアナウンスしたら自分の考えを旗を高く上げて表明する。周りがどの旗を上げているか見渡してみる。

			①	②	③	④	⑤
1	小学生	遊び場	20	3	6	3	2
2	中学生	課題研究	5	5	8	13	3
3	高校生	進路選択	0	13	18	0	3
4	24才	故郷紹介	7	8	5	10	4
5	28才	出産	4	7	8	8	7
6	31才	育児	3	10	8	2	11
7	34才	新居	1	15	6	8	4

旗が上がったら、集計係は会場の結果を模造紙などに記録する。1番多い番号には色をつけておくと分かりやすい。

## 🕒 進め方

### 準備

- あらかじめ、検討テーマに関する複数の設問を用意しておく。(5肢択一とし、選択肢の5番目は「その他」にしておく)
- 質問と選択肢は、参加者の手元に配布するか、会場に写し出す。
- 参加者には1～5番までの小旗を1セット配る。

### STEP 1 旗上げアンケート (15～30分)

- 司会が質問と5つの選択肢を読み上げる。
- 参加者各自が自分の考えとして該当する番号の旗を上げる。
- 司会は、旗上げ結果の概略を伝える。(多い番号をアナウンスするなど) (また、「その他」を上げた参加者に適宜コメントをもらう)
- 集計係は、上げられた番号ごとにカウントし、集計表に記録する。
- 設問の数だけSTEP 1をくりかえす。

### STEP 2 ふりかえり (5～10分)

- 全ての設問が終わったら、司会が結果をふりかえる。



司会が質問をアナウンスしたら、自分の考えを旗を高く上げて表明する。

## 📎 道具

旗	1セット/人	・ 1セット (1～5番の小旗)
設問集	1枚/人	・ 参加者1人1人に配る ・ プロジェクターで会場に映し出ししても良い ・ 落語のめくり台の様に見せても良い
集計表	1枚	・ 大判で貼り出しておき、そこに結果を記入する

## 👤 役割分担

司会	1人	・ 設問を読み上げたり、参加者にコメントを伺う
集計係	2～3人	・ 旗上げの結果を数え、表などに記録する

## 🎯 ねらい

参加者全員の意見や評価の傾向を、その場ですぐに共有するには、旗上げアンケートという方法が役に立ちます。ワークの前に行うことで、議論の活性化を図ることもできます。ワークの最中に点数評価（五段階評価）を行うことにも活用できます。

参加者には1～5番までの小旗を1セットずつ配ります。あらかじめ5肢択一の設問を複数用意しておき、司会の質問に参加者が旗を上げながら、その場で集計を行っていきます。

大人数でも、会場全体の意見の様子がリアルタイムで参加者一人一人に伝わります。

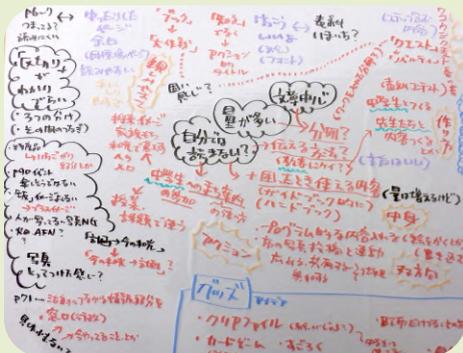
# 旗上げアンケート

ワーク手法3

(20～40分)



旗上げアンケート用の5色の小旗セット。



参加者の発言内容を簡単なキーワードなどで書き、議論の経過を表現する。



大きめの紙にキーワードを書き出し、大人数の会場全体でまとめをしていく方法もある。市販のどこでも貼れるホワイトボードを活用しても良い。

## ☆パネル資料を参考にしよう

ワークの前後や最中に参加者が参考情報を得られるように、関係する資料をパネル形式で用意しておく、理解が深まり、議論が活発になります。

アイデア出しに役立つような資料を拡大してパネル化したり、壁に貼り出したりします。



会場の入口に展示をして入場時や開始前に見てもらおう。



ワーク作業のそばに置いておくと役立つ。

## 🕒 進め方

### 準備

- ホワイトボードや壁に模造紙を貼り付ける。(全員が見やすい位置に)
- テーマ、日付、場所、参加者名などを記入しておく。

### STEP 1 ディスカッション (20~40分)

- 3~10人程度でチームを作り、書きとめ役を1人決める。
- テーマについて自由な意見出し、フリートーク、ディスカッションなどを行う。
- 書きとめ役は、模造紙に発言内容やキーワードを簡潔に書きとめていく。
- 意見同士の関係などをマジックを使い、囲みや矢印などで記入していく。意見の内容が分かりやすくなるようマジックで色を使い分け、マークやイラストなどを書き加えていく。
- 途中でブレイクタイムを取り、書きとめ役が議論の経過 (FG の内容) を紹介する。その後、ディスカッションを続ける。
- ファシリテーターと呼ばれる進行役を決めても良い。(書きとめ役が兼任しても良い)

### STEP 2 発表と共有 (1チーム3~5分)

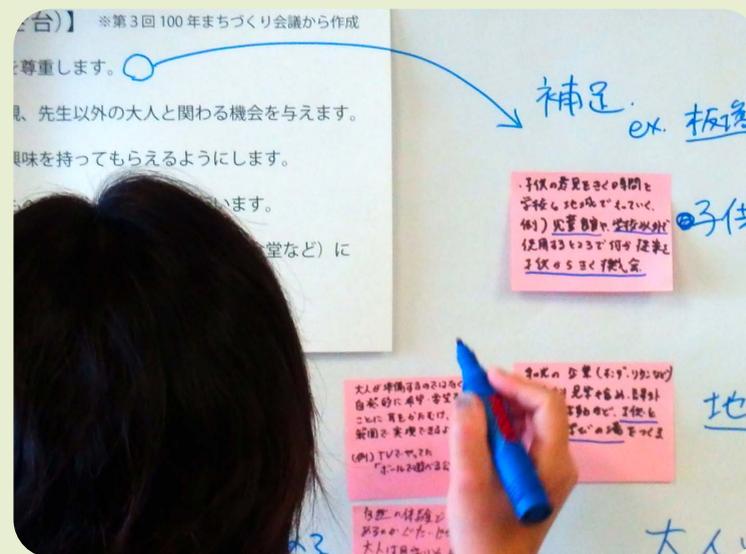
- 議論が終わったらチーム内でFGの共有をする。
- チームごとに全体に向けて発表する。(1チームの場合は、チーム内でふりかえりとまとめをする)

# ファシリテーショングラフィック

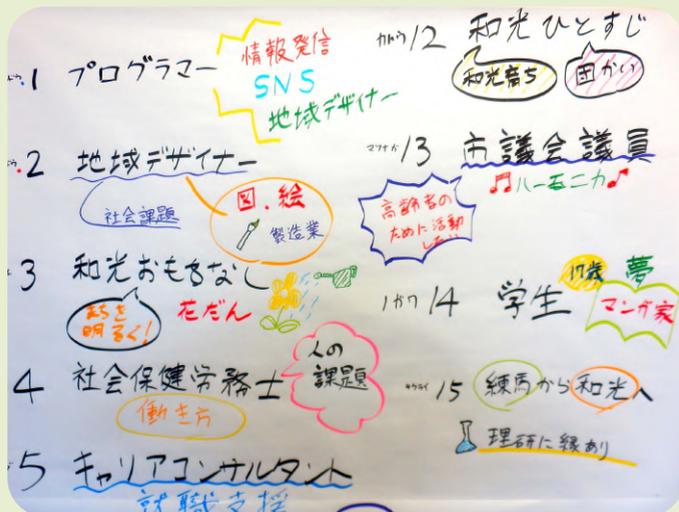
## ねらい

ファシリテーショングラフィック (FG) とは、模造紙などに、出された意見をその場で書き出し、絵や図も使いながら、参加者の全意見を1枚に見やすくまとめる方法です。

どのような意見が出ているかを即時に、また視覚的に共有することで、論点が分かりやすくなり、次の議論が活性化していきます。



参加者の発言内容を簡単なキーワードなどで書き、議論の経過を表現する。



イラストや図などを活用して、まとめていく。

## 道具

模造紙	1〜3枚 /グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員が見やすいように壁に貼る (ホワイトボードやパネルを使っても良い) (テーブルに置いても良い)</li> <li>まとめて用意して、めくって使う</li> <li>マジックなどが裏に染み付かないように注意</li> </ul>
マジック	1セット /グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんの色を揃えておくと絵や図の表現が広がる</li> </ul>
テープ	1個	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードや模造紙を固定するのに使う</li> <li>模造紙を大きく使いたいときは、2枚をテープでつなぐと良い</li> </ul>

## 役割分担

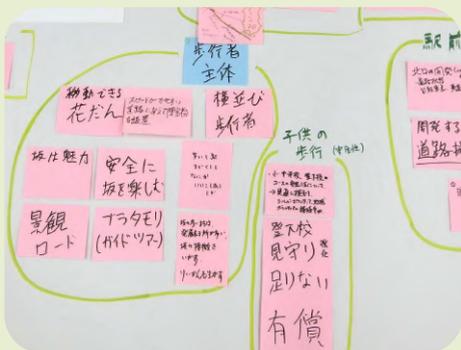
ファシリテーター	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>議論がスムーズに進行するようにサポートする</li> </ul>
書きとめ役	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の意見を模造紙に書きとめる</li> </ul>

## STEP 4 発表（1チーム3～5分）

- チームごとに全体に向けて発表する。（1チームの場合は、チーム内でふりかえりとまとめをする）



テーブルを取り囲んで議論する。一人だけが話し続けないように注意する。



カードに意見やアイデアを書く。（1つのカードに複数の意見を書かない）



似たカードはグループ化し、グループ名をつける。また、グループ同士の関係を整理する。

## 🕒 進め方

### 準備

- 3～7人程度でチームを作り、模造紙を取り囲む。
- テーマ（例：和光の未来をイメージしてみよう）を1つ決める。
- 模造紙にテーマ、日付、場所、参加人数などを記入する。（あとで他の人が何の議論をしたか分かるようにしておく）

### STEP 1 カード記入（5～10分）

- カードの記入時間をとる。
- カードにはなるべくたくさんのアイデアを書き出す。

### STEP 2 カード発表と整理（15～30分）

- 手持ちのカードを発表しながら、順番に出していく。似た意見のカードは近くに寄せていく。
- 全員のカードが出し終わるまで続ける。

### STEP 3 発表（20～30分）

- みんなで話し合い、手を動かしながら意見の近いものや関連のあるものはグループ化して、囲み線やタイトルをマジックで書く。矢印などを使ってグループ同士の関係も表記する。
- 追加の意見があれば新たなカードに書き込み、関連する場所に貼る。
- 最後にチーム名やタイトルを決めて、大きく書く。
- 発表者や発表方法を決める。

ワークに使う基本的な道具セット。(カード、マジック、サインペン、テープ、模造紙、名札)



## 道具

カード (ふせん)	5~20枚 /人	<ul style="list-style-type: none"> <li>貼って剥がせる市販の商品</li> <li>色の違う物を用意して使い分けても良い</li> </ul>
マジック	1セット /グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくつかの色を揃えておくと作業しやすい</li> </ul>
サインペン	1本/人	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふせんに記入する時に使用する</li> </ul>
模造紙	1~2枚 /グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きく使いたいときは、2枚をテープでつなぐと良い</li> <li>マジックなどが裏に染み付かないように注意</li> </ul>
テープ	1個	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードや模造紙を固定するのに使う</li> </ul>
名札	1個/人	<ul style="list-style-type: none"> <li>はじめて会うメンバーの場合は名札を用意</li> <li>参加者はマジックで自分の名前を書く</li> <li>本名だけでなくニックネームも可能</li> <li>作業中は名札に書いてある名前呼び合う</li> </ul>

## 役割分担

ファシリテーター	1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>議論がスムーズに進行するようにサポートする</li> </ul>
----------	----	---

## ねらい

意見やアイデアを口に出すのではなく、まずカードに書き出し、みんなで話し合いながら整理することで、他者や全体の意見を把握し、新たな発見を生み出すことができます。

参加者は1つのカードに1つの意見を記入します。カードは発表しながら出し、みんなで整理していきます。

ファシリテーターと呼ばれる進行役を決めて、進めても良いです。

# カード(ふせん)を使った アイデア出しと整理

ワーク手法1

(50~90分)



カードに意見を書きながら出していく。  
文字は参加者に読めるように大きく書く。

## 目次

【ワーク手法1】	-----	4
カード（ふせん）を使った アイデア出しと整理		
【ワーク手法2】	-----	8
ファシリテーショングラフィック		
【ワーク手法3】	-----	12
旗上げアンケート		
【ワーク手法4】	-----	16
円形ダンボールを使ってみよう		
【ワーク手法5】	-----	20
メンバーを入れ替えながらワークする		
【ワーク手法6】	-----	24
私がまちにできること （自己紹介と交流）		
【ワーク手法 応用編】	-----	28
まちづくり人生ゲーム		



ワーク手法とは、集まった人たちが、楽しく和やかな雰囲気の中で、話し合いを上手にまとめていく方法です。充実した議論となるように進行を工夫したり、簡単な道具を使ったりします。参加者同士の共通の作業や体験を通して、意識の醸成や、他者への理解を深めます。

次のページからは、あなたが周りの人と一緒になって和光市のまちづくりを考える上で、意見を共有したり、まとめたりするためのワーク手法をいくつかご紹介します。

和光市は、このまちに住んでいる人、このまちを訪れる人、このまちで働く人など、たくさんの人によって支えられています。1人ではなかなか思いつかない、まちづくりのアイデアや手がかりも、みんなと一緒に思い浮かべることができるかもしれません。ぜひ、お友達やご近所の人を誘ってトライしてみてください。

ワーク手法や参加人数によって、準備する道具の種類、かかる時間、会場の設営スタイルなどが変わってきます。本誌を参考にしながら、それぞれの環境に合わせて、アレンジをしてみてください。

もちろん、和光市のまちづくりだけでなく、色々な場面で使える方法でもあります。ぜひ、活用してください。

**WAKO  
WAKU  
WAKU  
WORK**

# 和光の未来を考える



## ワークブック

